

第 3 章

調査結果の概要

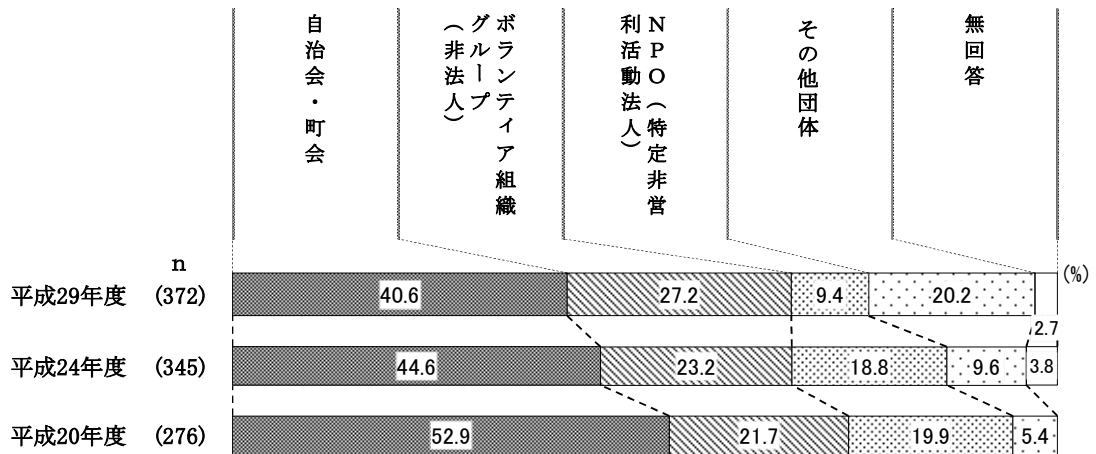
-地域福祉組織・団体、民生員児童委員調査-

1. 地域福祉組織・団体の概要

(1) 地域福祉組織・団体【組問2～問5】

①地域福祉組織・団体（以下、図表のタイトル表記は「団体」とする。）の回答数は、「自治会・町会」が40.6%で最も高く、次いで「ボランティア組織グループ（非法人）」（以下、「ボランティア団体」という。）が27.2%となっている。なお、この傾向は、平成20年度、24年度調査時と大きく変わらない。

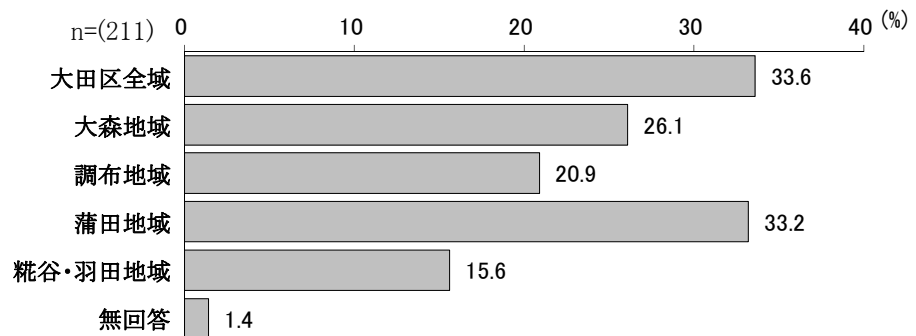
<図表1-1> 地域福祉組織・団体の構成（団体）



※その他団体とは、問2において「4 その他」を選択した団体であり、主な回答として社会福祉法人、シニアクラブ、子育てサークル、その他趣味のグループなどがある。

②ボランティア団体・NPO・その他団体の活動エリアについては、「大田区全域」が33.6%で最も高く、次いで「蒲田地域」が33.2%となっている。

<図表1-2> 活動エリア（団体）

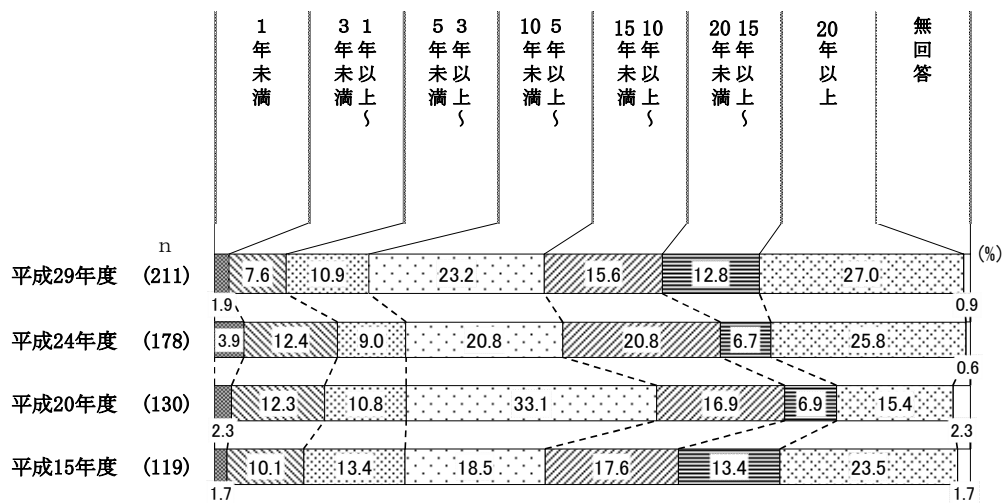


(1) 地域福祉組織・団体（続き）

③ ボランティア団体・NPO・その他団体の活動期間については、「20年以上」が27.0%で最も高く、次いで「5年以上～10年未満」が23.2%、「10年以上～15年未満」が15.6%の順となっている。

平成20年度以降は、「20年以上」の団体が増加傾向にある。

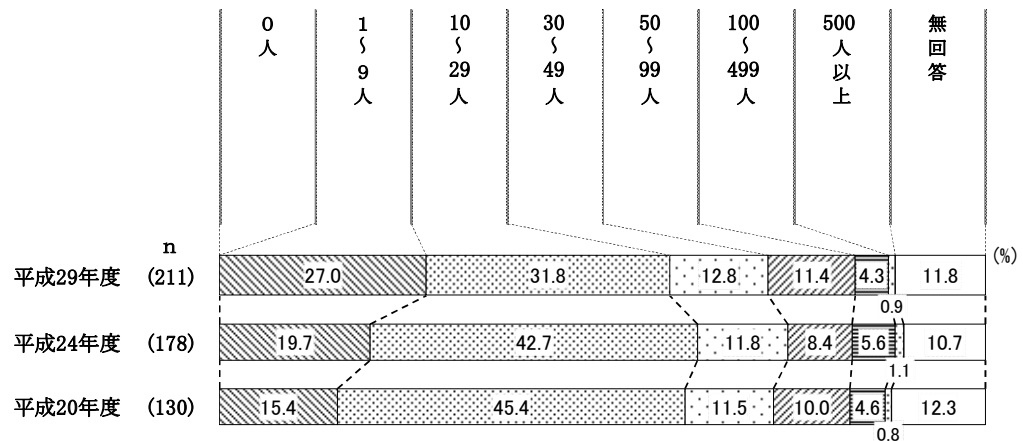
<図表1-3> 活動期間（団体）



④ ボランティア団体・NPO・その他団体の活動会員の人数については、「10～29人」が31.8%で最も高くなっている。

平成20年度以降、「1～9人」が増加傾向にあり、「10～29人」は減少傾向にある。

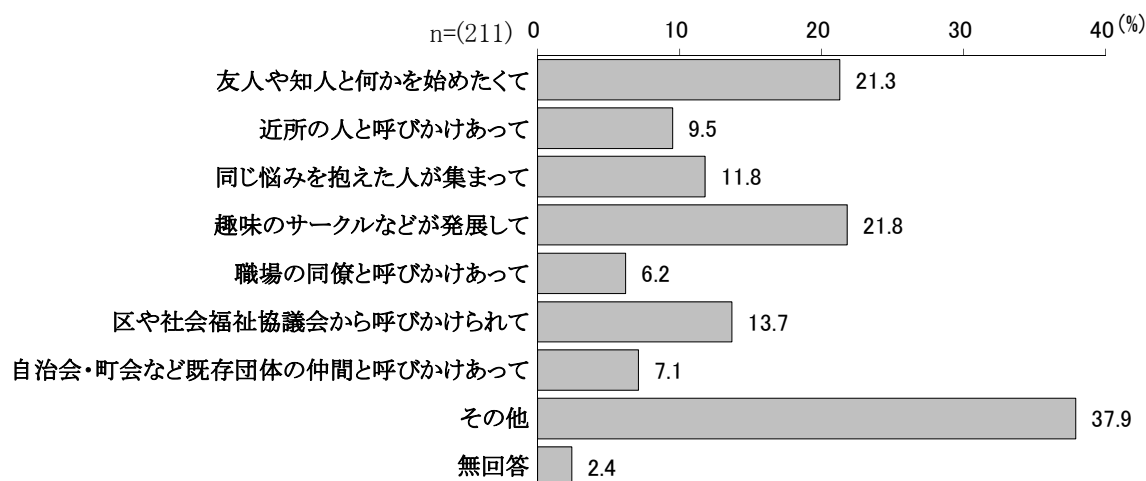
<図表1-4> 活動会員の人数（団体）



(1) 地域福祉組織・団体（続き）

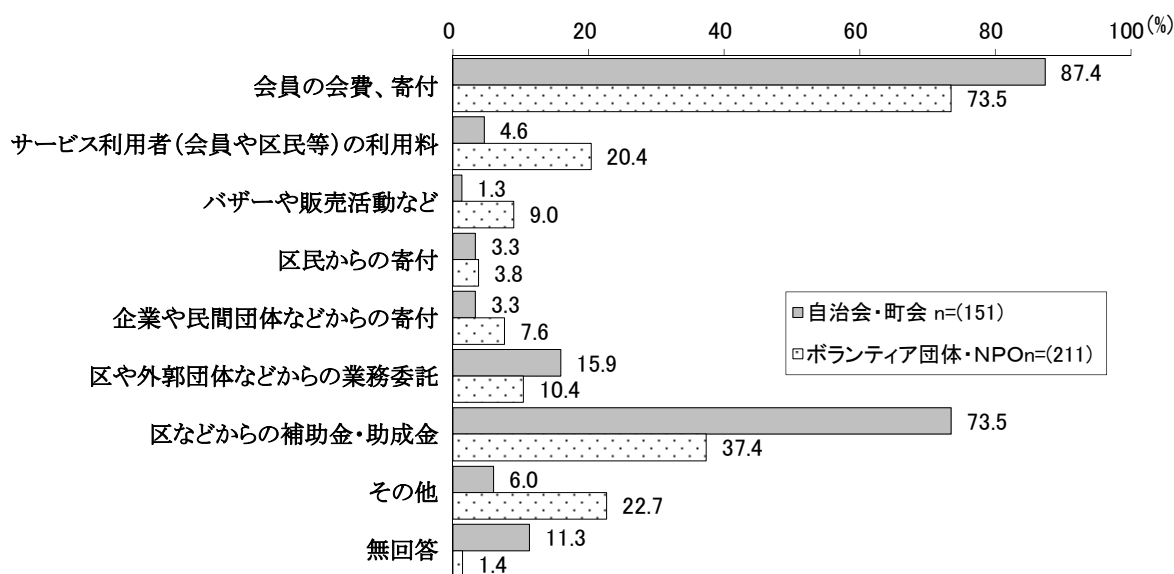
⑤ ボランティア団体・NPO・その他団体の設立のきっかけについては、「その他」を除くと、「趣味のサークルが発展して」が21.8%で最も高く、次いで「友人や知人と何かを始めたくて」が21.3%、「区や社会福祉協議会から呼びかけられて」が13.7%の順となっている。

<図表1-5> 設立のきっかけ（団体）



⑥ 主な活動資金について、自治会・町会では「会員の会費、寄付」が87.4%で最も高くなっている。また、ボランティア団体・NPO・その他団体においても、「会員の会費、寄付」が73.5%で最も高くなっている。

<図表1-6> 主な活動資金（団体）

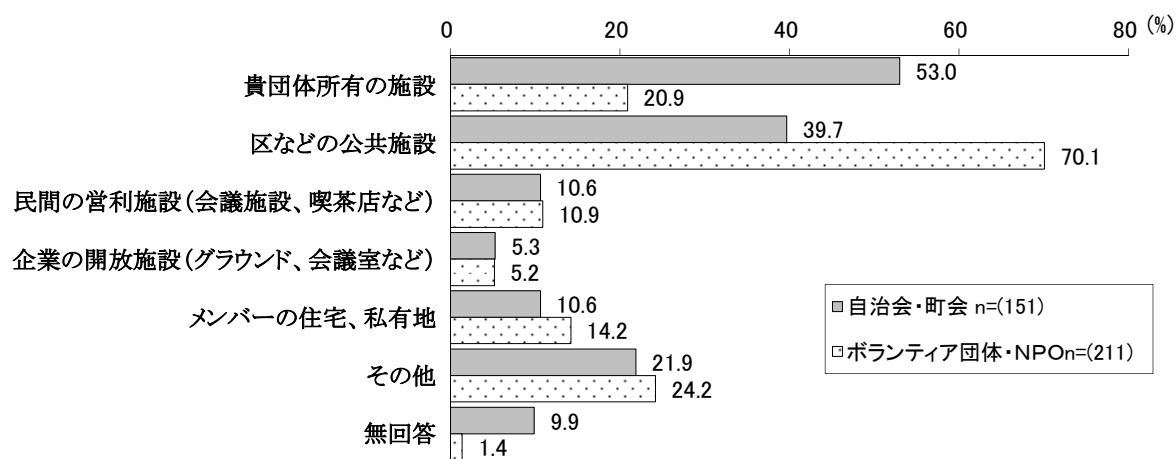


(1) 地域福祉組織・団体（続き）

⑦団体の活動場所について、自治体・町会では「貴団体所有の施設」が53.0%で最も高くなっている。

一方、ボランティア団体・NPO・その他団体では、「区などの公共施設」が70.1%で最も高くなっている。

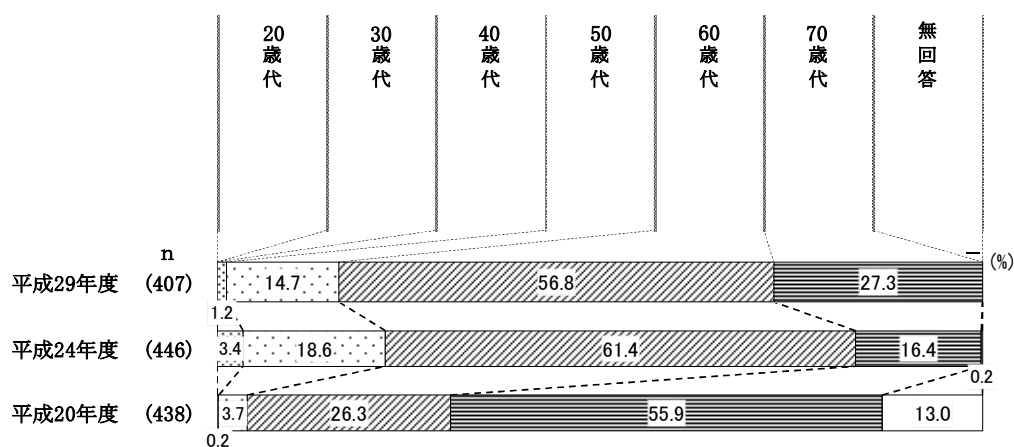
<図表1-7> 団体の活動場所（団体）



(2) 民生委員児童委員【民間1～問3】

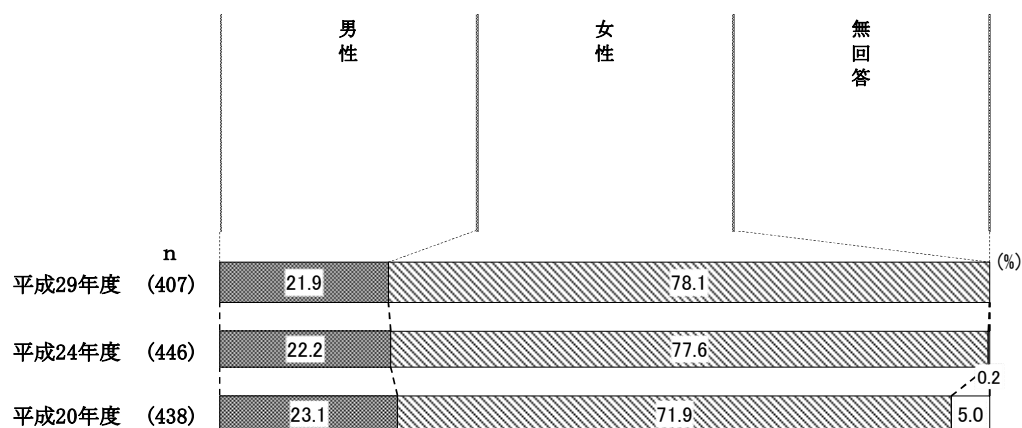
- ①民生委員児童委員（以下、図表のタイトル表記は「民生委員」とする。）の年齢については、「60歳代」が56.8%で最も高く、「70歳代」を合わせると84.1%となっている。
 平成24年度と比べると、「70歳代」が10.9ポイント増加し、「60歳代」が4.6ポイント減少している。

<図表1-8> 年齢（民生委員）



- ②民生委員児童委員の性別については、「女性」が78.1%を占めている。

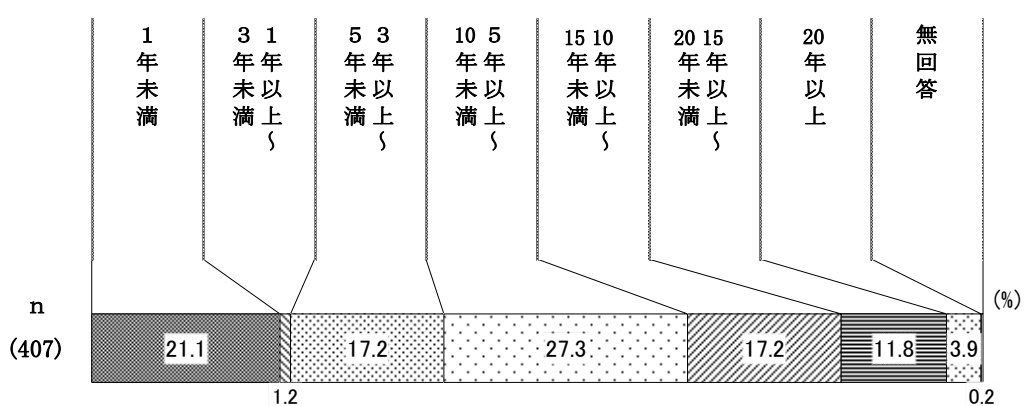
<図表1-9> 性別（民生委員）



(2) 民生委員児童委員 (続き)

③ 民生委員児童委員の活動年数については、「5年以上～10年未満」が27.3%、「1年未満」が21.1%と高くなっている。

<図表1-10> 活動年数 (民生委員)



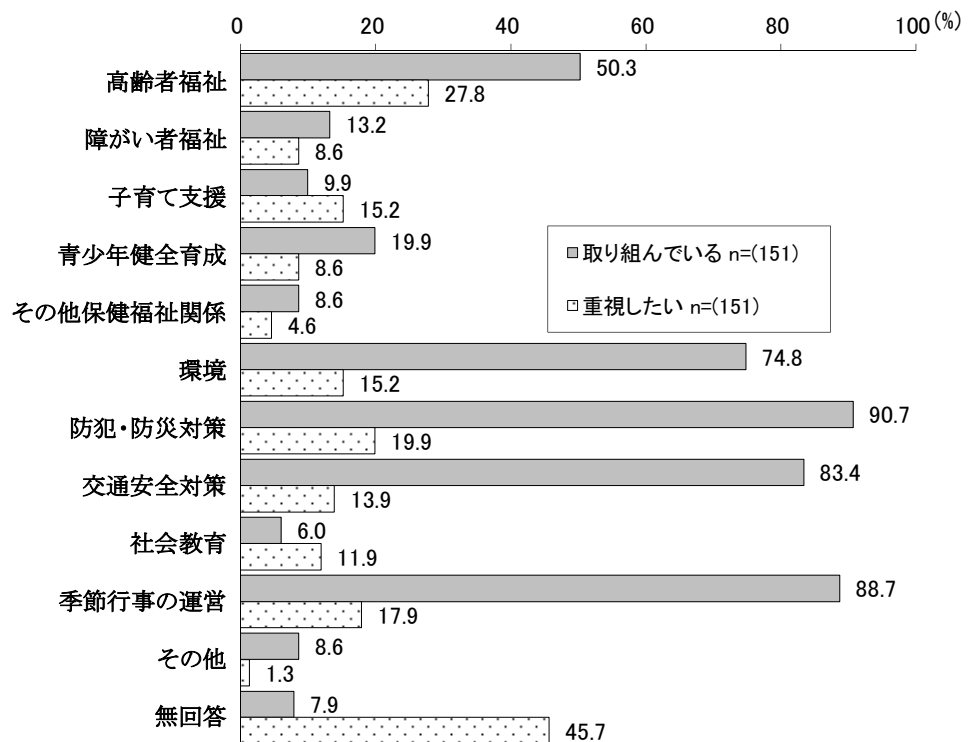
※ 民生委員児童委員は3年に1度一斉改選があり、直近の改選が平成28年12月であることに留意が必要。

2. 活動の状況

(1) 現在取り組んでいる活動と今後重視したい活動【組問6】【民問5】

①自治会・町会で現在取り組んでいる活動については、「防犯・防災対策」が90.7%で最も高く、次いで「季節行事の運営」が88.7%、「交通安全対策」が83.4%の順となっている。
 今後重視したい活動については、「高齢者福祉」が27.8%で最も高くなっている。

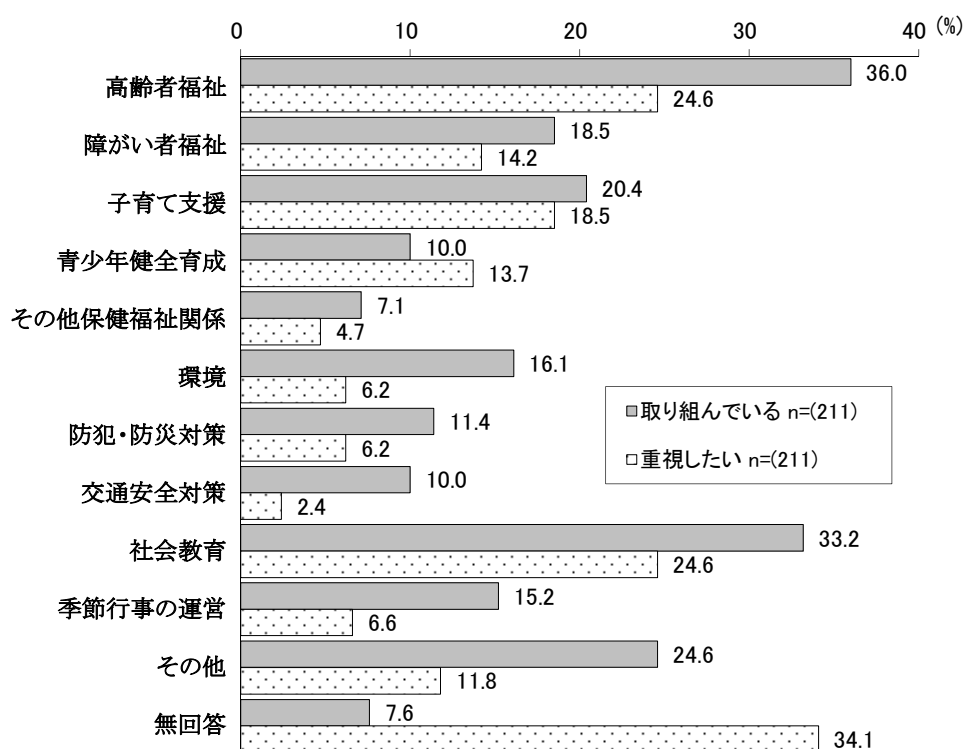
<図表2-1> 現在取り組んでいる活動と今後重視したい活動（自治会・町会）



(1) 現在取り組んでいる活動と今後重視したい活動（続き）

② ボランティア団体・NPO・その他団体で現在取り組んでいる活動については、「高齢者福祉」が36.0%で最も高く、次いで「社会教育」が33.2%、「子育て支援」が20.4%の順となっている。今後重視したい活動としては、「高齢者福祉」と「社会教育」が24.6%と同率で最も高くなっている。

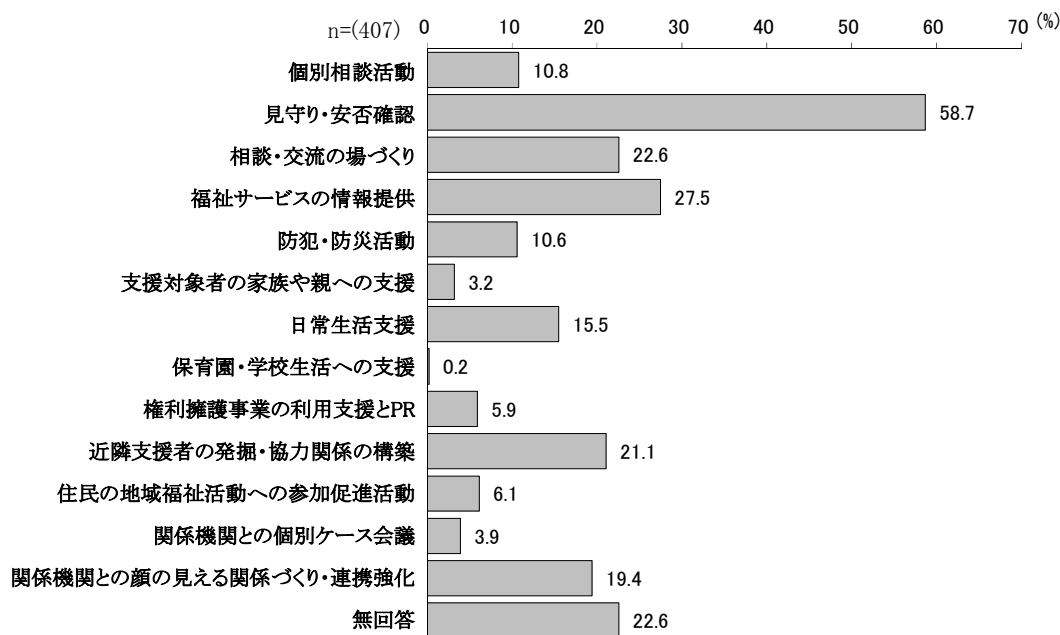
<図表2-2> 現在取り組んでいる活動と今後重視したい活動（ボランティア団体・NPO・その他団体）



(1) 現在取り組んでいる活動と今後重視したい活動（続き）

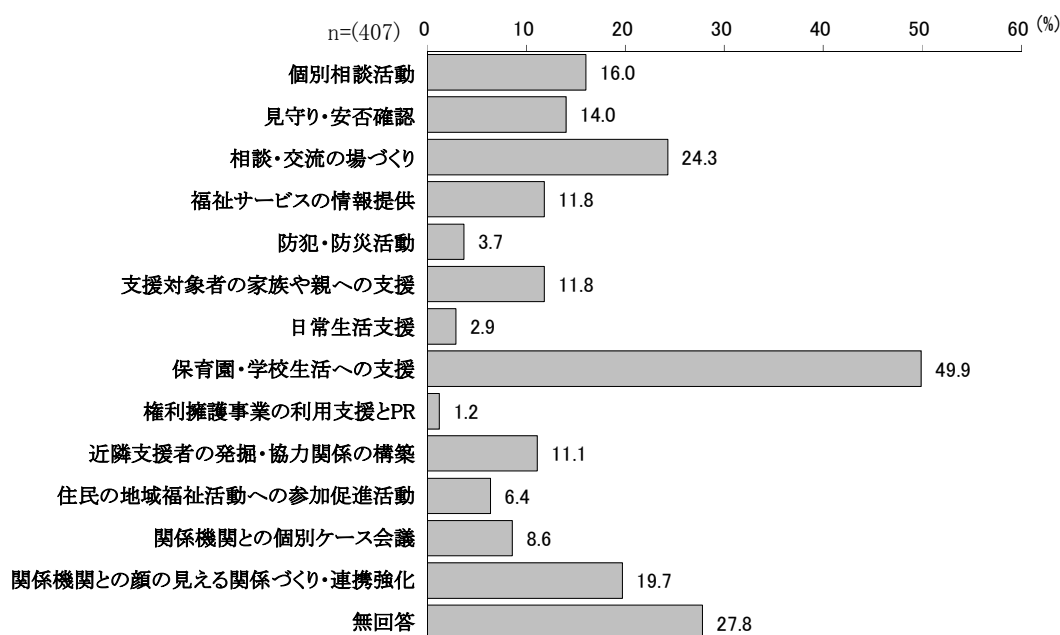
③民生委員児童委員が、高齢者世帯への支援として力を入れていく必要があると思う活動については、「見守り・安否確認」が58.7%で最も高く、次いで「福祉サービスの情報提供」が27.5%、「相談・交流の場づくり」が22.6%の順となっている。

<図表2-3>【高齢者世帯】力を入れていく必要があると思う活動（民生委員）



④民生委員児童委員が、子育て世帯への支援として力を入れていく必要があると思う活動については、「保育園・学校生活への支援」が49.9%で最も高く、次いで「相談・交流の場づくり」が24.3%、「関係機関との顔の見える関係づくり・連携強化」が19.7%の順となっている。

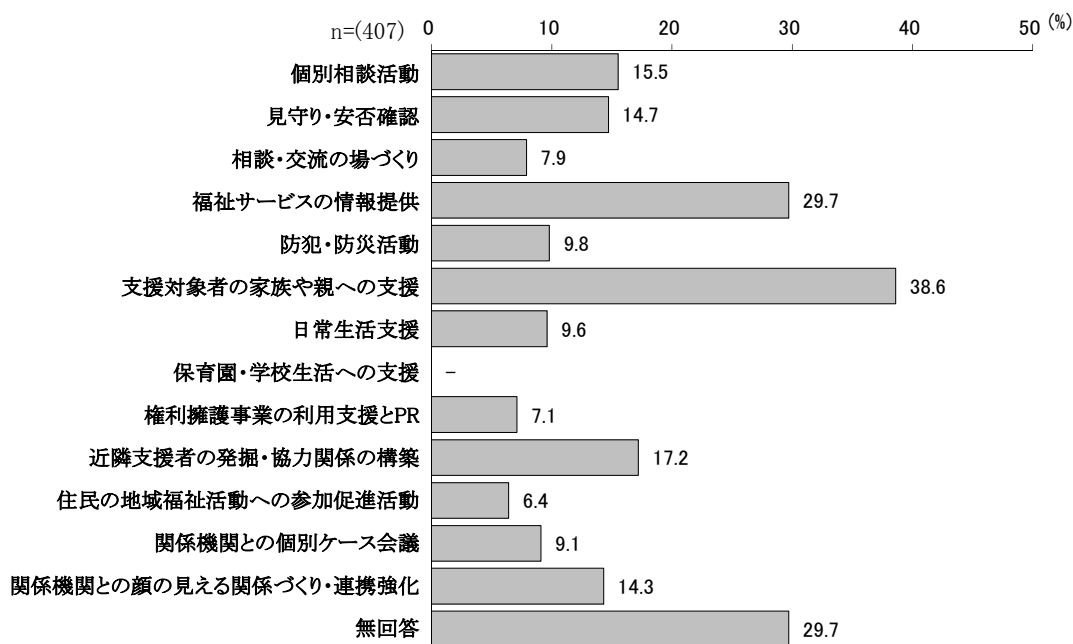
<図表2-4>【子育て世帯】力を入れていく必要があると思う活動（民生委員）



(1) 現在取り組んでいる活動と今後重視したい活動（続き）

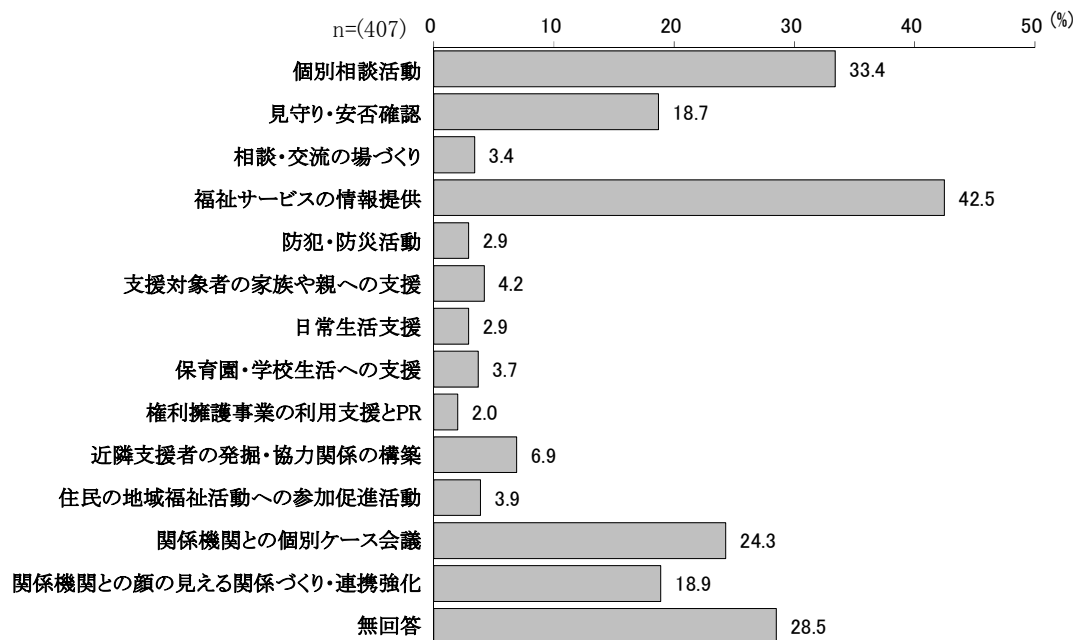
⑤民生委員児童委員が、障がい者世帯への支援として力を入れていく必要があると思う活動については、「支援対象者の家族や親への支援」が38.6%で最も高く、次いで「福祉サービスの情報提供」が29.7%、「近隣支援者の発掘・協力関係の構築」が17.2%の順となっている。

<図表2-5> 【障がい者世帯】力を入れていく必要があると思う活動（民生委員）



⑥民生委員児童委員が、生活保護世帯への支援として力を入れていく必要があると思う活動については、「福祉サービスの情報提供」が42.5%で最も高く、次いで「個別相談活動」が33.4%、「関係機関との個別ケース会議」が24.3%の順となっている。

<図表2-6> 【生活保護世帯】力を入れていく必要があると思う活動（民生委員）

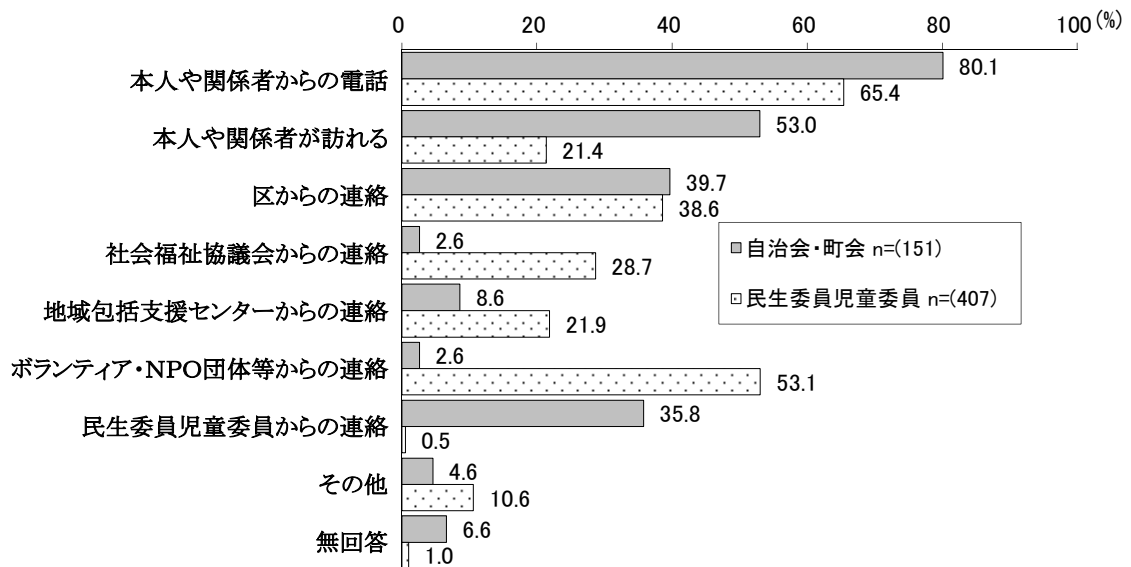


(2) 地域住民からの相談方法【組問7】【民間6】

①地域住民からの相談方法について、自治会・町会では「本人や関係者からの電話」が80.1%で最も高くなっている。

民生委員児童委員においても、「本人や関係者からの電話」が65.4%で最も高くなっている。

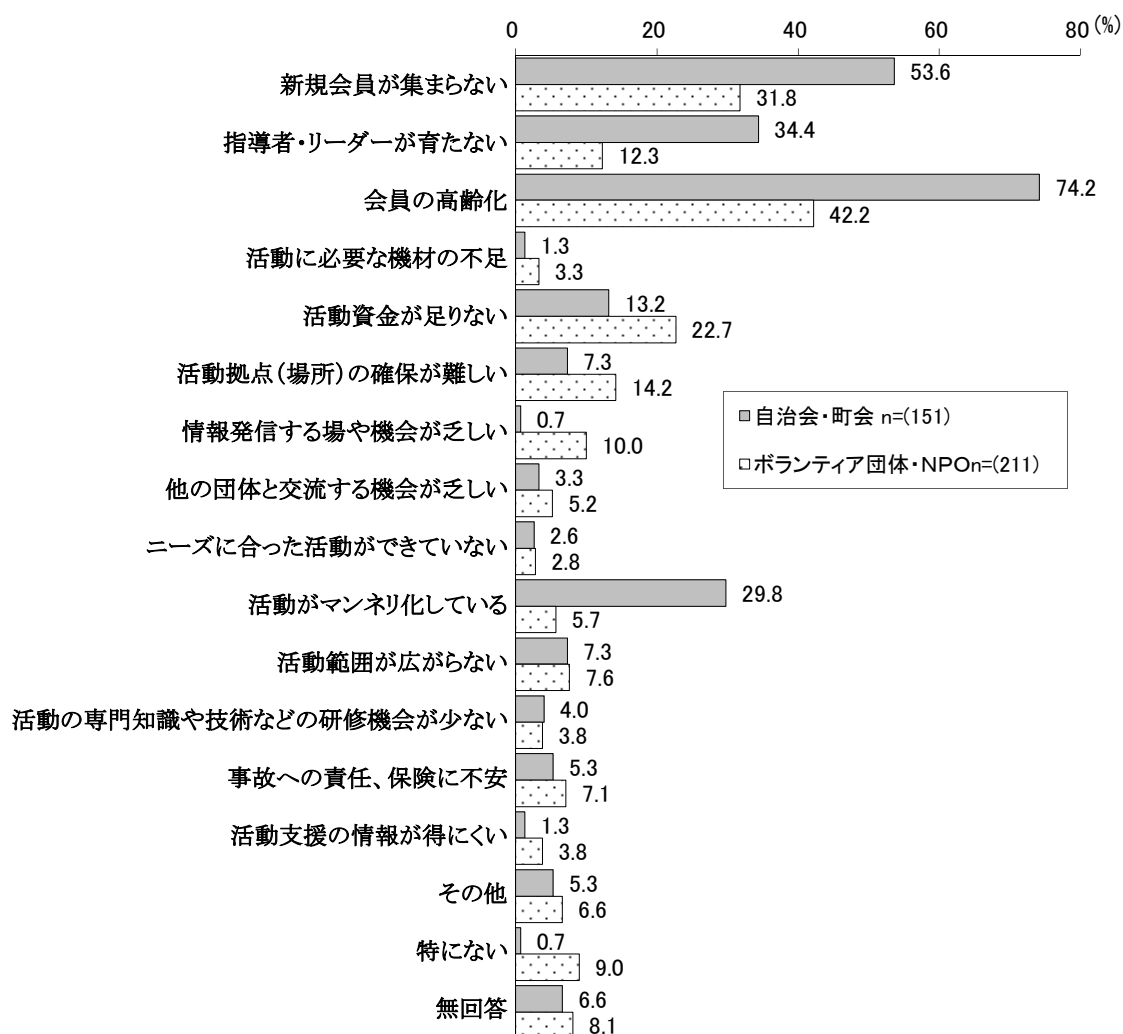
<図表2-7> 地域住民からの相談方法（団体）（民生委員）



(3) 困っていること【組問8】【民間9】

①困っていることについて、自治会・町会では「会員の高齢化」が74.2%で最も高く、次いで「新規会員が集まらない」が53.6%、「指導者・リーダーが育たない」が34.4%の順となっている。ボランティア団体・NPO・その他団体においても、「会員の高齢化」が42.2%で最も高く、次いで「新規会員が集まらない」が31.8%、「活動資金が足りない」が22.7%の順となっている。

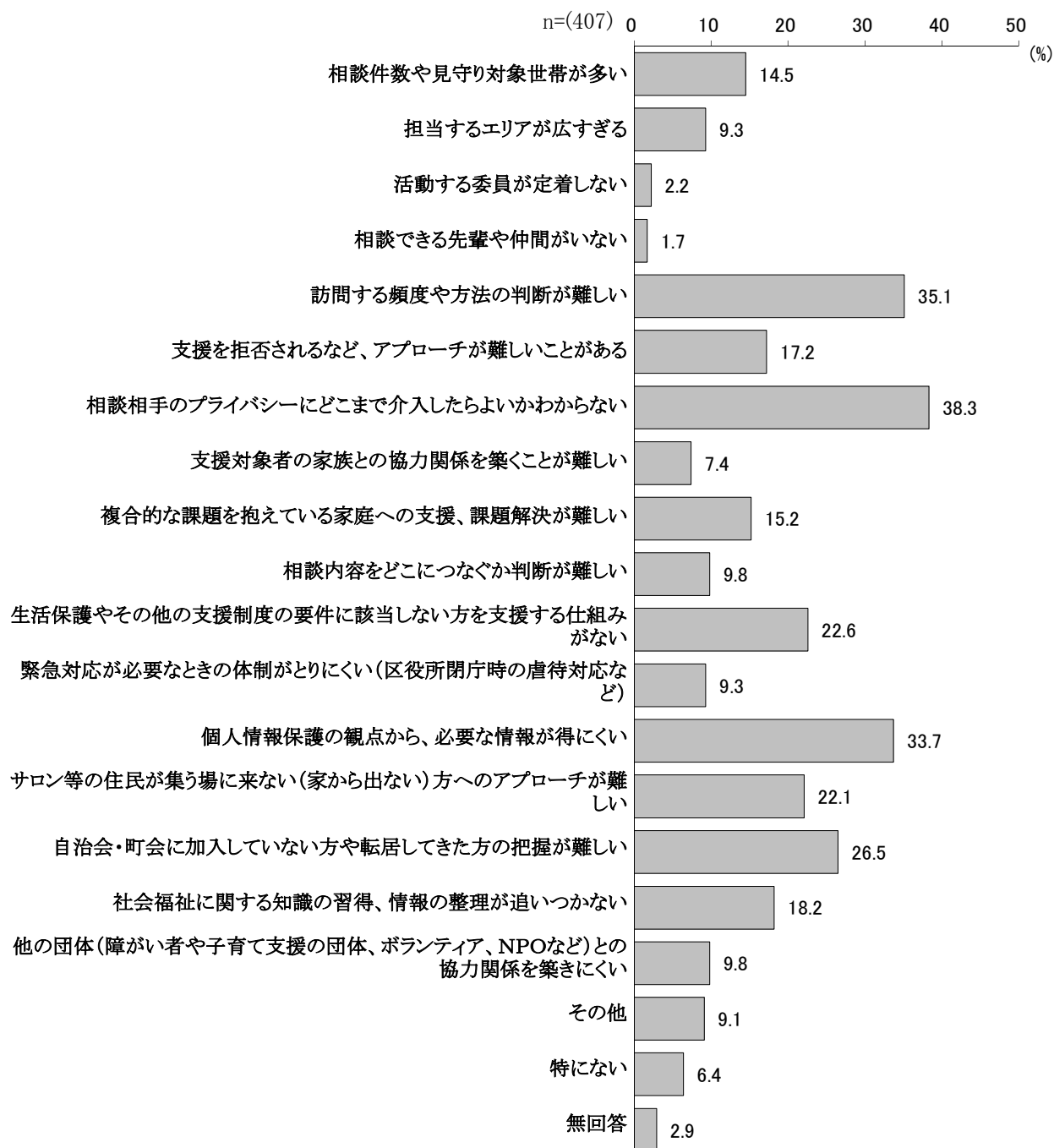
<図表2-8> 地域福祉活動団体が困っていること（団体）



(3) 困っていること（続き）

②民生委員児童委員活動における悩みや課題については、「相談相手のプライバシーにどこまで介入したらよいかわからない」が38.3%で最も高く、次いで「訪問する頻度や方法の判断が難しい」が35.1%、「個人情報の観点から、必要な情報が得にくい」が33.7%の順となっている。

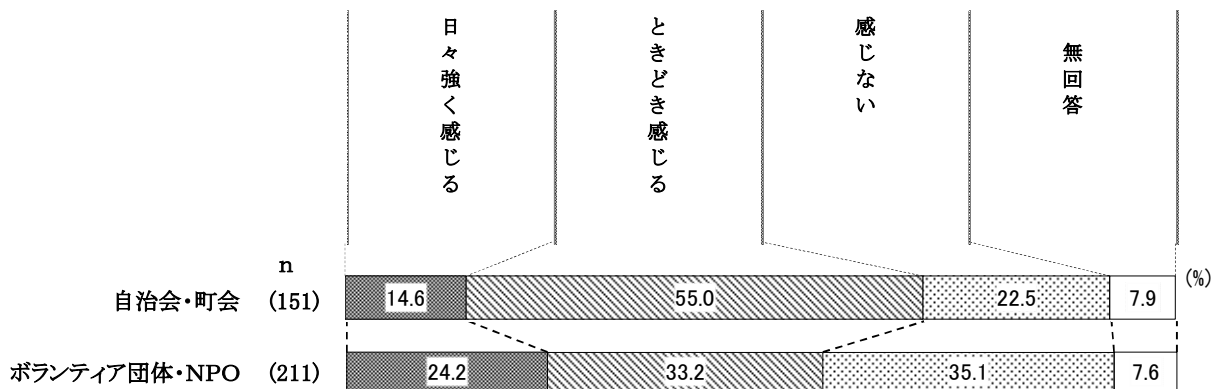
<図表 2-9> 悩みや課題（民生委員）



(4) 連携の状況【組問9～問10-1、問12】【民間7～問8】

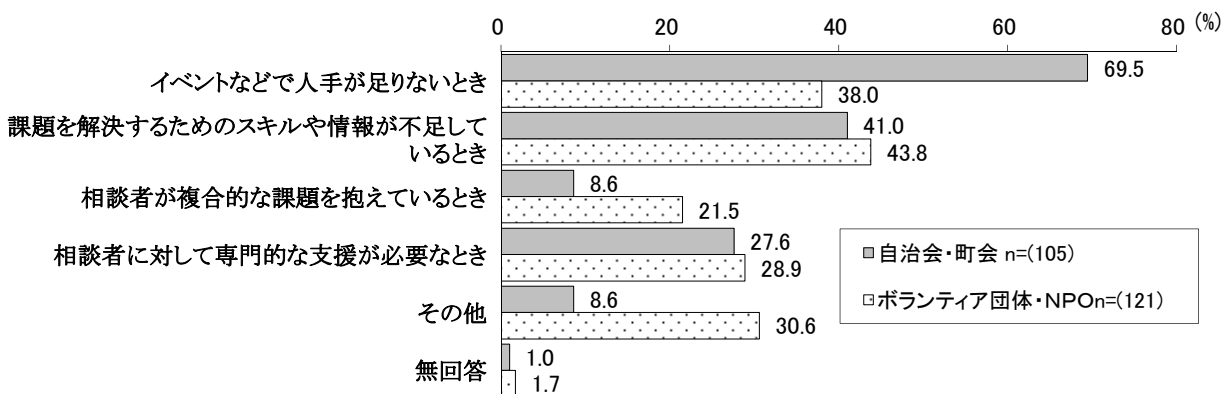
①他団体や機関との連携の必要性の有無について、自治会・町会では「ときどき感じる」が55.0%で最も高く、「日々強く感じる」と合わせると69.6%となっている。ボランティア団体・NPO・その他団体については「感じない」が35.1%で最も高くなっているが「日々強く感じる」「ときどき感じる」を合わせると57.4%となり、連携の必要性を感じているとの回答は半数を超えている。

<図表2-10> 他団体や機関との連携の必要性の有無（団体）



②他団体や機関との連携の必要性を感じるタイミングについて、自治会・町会では「イベントなどで人手が足りないとき」が69.5%で最も高くなっている。ボランティア団体・NPO・その他団体では、「課題を解決するためのスキルや情報が不足しているとき」が43.8%で最も高くなっている。

<図表2-11> 他団体や機関との連携の必要性を感じるタイミング（団体）

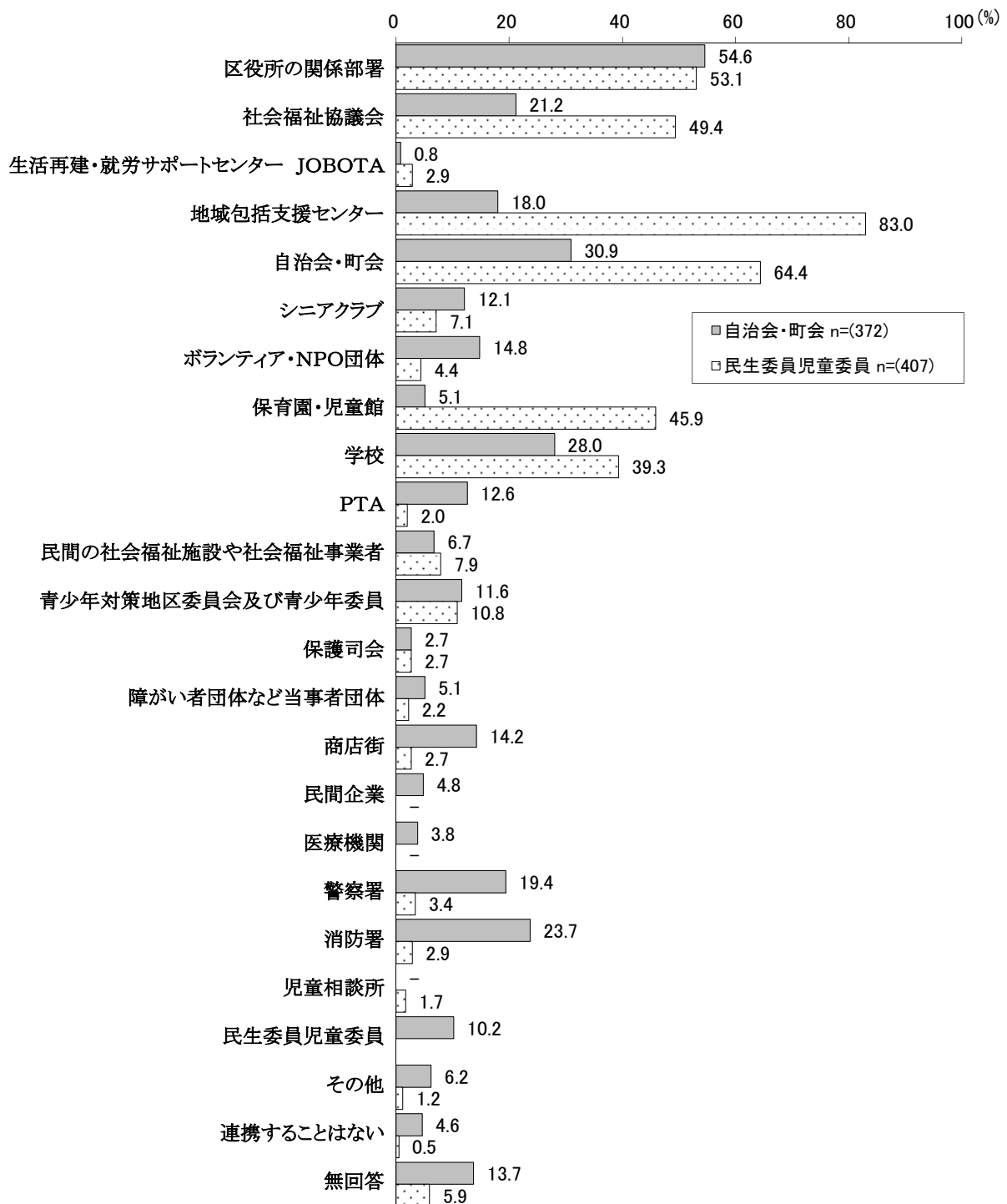


(4) 連携の状況 (続き)

③連携している団体について、自治会・町会では「区役所の関係部署」が54.6%で最も高く、次いで「(他の)自治会・町会」が30.9%、「学校」が28.0%の順となっている。

民生委員児童委員では、「地域包括支援センター」が83.0%で最も高く、次いで「自治会・町会」が64.4%、「区役所の関係部署」が53.1%の順となっている。

<図表2-12> 連携している団体(団体)(民生委員)



地域福祉組織・団体の連携事例【組問 10-1】

※地域福祉組織・団体とは、自治会・町会、ボランティアグループ（非法人）、NPO、その他の団体である。

※主な意見について掲載している。

※分類タイトル（①②などで表記）は連携の相手方を表している。

※分類タイトル後の（ ）内は該当する意見全数である。

① 区役所の関係部署（60）

- ・防災訓練を行う際など、特別出張所を通じて関連団体へ連絡を取ってもらっている。
- ・区民大学に参加している。
- ・OTAふれあいフェスタでスタンプラリーの企画・運営に協力している。当日もスタンプラリーのゴールを担当している。

② 社会福祉協議会（13）

- ・会員募集の呼びかけを依頼している。
- ・助成金を受けている。また、他の助成金制度の紹介（障がい者生涯学習のとりくみ）をしてもらった。

③ JOBOTA（1）

- ・JOBOTAから依頼のあった対象者に居住支援及び就労支援を行った。

④ 地域包括支援センター（25）

- ・毎月、高齢者との懇談を実施している（地域で支えあい、安心して暮らし続けるため）。
- ・年1回、自治会支援委員、警察署とともに災害時要援護者名簿登録者宅に個別訪問している。

⑤ 自治会・町会（53）

- ・毎年、12月末に3日間程度夜まわりをしている。
- ・町会主催のイベントに運営協力している。
- ・近隣の自治会・町会と合同で防火防災訓練、合同防火防災座談会（集会）を実施した。

⑥ シニアクラブ（16）

- ・区報配布の手伝いを行っている。
- ・町会とシニアクラブの連携で、お茶会、手づくり健康体操、カラオケ、料理講習などを定期的に行っている。
- ・シニアクラブ主催の行事の会場として自治会館を提供したり、資金援助を行っている。

⑦ ボランティア団体・NPO（63）

- ・NPOとの共催で「夏休み子どもひろば」を実施（小学生の学習指導、レクリエーションなど）した。
- ・共催イベントを開催して、活動拠点（場所）を提供してもらった。

⑧ 保育園・児童館（11）

- ・イベントのポスターを貼らせてもらったり、チラシを置かせてもらい、児童館からの紹介で多くの親子が参加した。

- ・保育園の季節の行事（雛祭り、さんま祭り、七夕、クリスマス、運動会、サマーコンサートなど）を見学させてもらった。

⑨ 学校 (43)

- ・町会と学校の合同で防災訓練を行っている。
- ・登校時の旗振りによる児童の安全見守りを行っている。
- ・本の読み聞かせ、夏のラジオ体操に団体として積極的に参加し、児童との交流を図っている。

⑩ P T A (11)

- ・町会主催の行事でP T Aからマンパワーを提供してもらったり、逆にP T A主催の夏祭りでは町会が子どもたちへの支援を行うなどの相互協力ができている。

⑪ 民間の社会福祉施設、事業者 (28)

- ・高齢者福祉施設の敬老の日や節分行事の際、町会としてイベントの運営に協力している。

⑫ 青少年対策地区委員 (13)

- ・青少年対策地区委員会主催の行事に、町会として模擬店を出店した。

⑬ 保護司会 (3)

- ・社会を明るくする運動に、町会として参加している。

⑭ 障害者団体 (11)

- ・精神障がい者支援団体の方々と、地域生活支援の課題についての情報共有と学習会を行った。

⑮ 商店街 (15)

- ・町会として、防犯カメラの設置・運営に協力した。
- ・団体主催の講座を開催する際に、商店街のコミュニティスペースを利用させてもらっている。

⑯ 民間企業 (5)

- ・団体が運営するイベントで、高齢者向けのスマートフォン体験に協力してもらった。

⑰ 医療機関 (6)

- ・団体主催の講演会の際、講師として地域の医療機関から医師を招いた。
- ・町会主催の防災訓練に医師会からも参加があり、情報共有の機会を得られた。

⑱ 警察署 (7)

- ・団体主催の講演会の際、オレオレ詐欺の手口などについて高齢者に説明してもらった。
- ・ボランティア活動に当たり、交通ルールや学童の誘導方法など定期的に指導を受けている。

⑲ 消防署・消防団 (20)

- ・町会主催の防災訓練の際、人員、機材、ノウハウなどの相談・応援を求めている。
- ・自治会主催の納涼祭や餅つき大会で、消防団のP Rも兼ねて、多くの団員の方に手伝ってもらっている。

⑳ 民生児童委員 (4)

- ・町会で取り組んでいる高齢者見守りについて、相談に乗ってもらっている。

㉑ その他 (16)

民生委員児童委員の連携事例【民間7-1】

※主な意見について掲載している。

※分類タイトル（①②などで表記）は連携先を表している。

※分類タイトル後の（ ）内は該当する意見全数である。

① 区役所の関係部課（29）

- ・母子世帯からの相談を受け、児童扶養手当の申請につなげることができた。
- ・年に一度、生活保護ケースワーカーと受給世帯についての情報交換を行っている。
- ・区民の方から問い合わせがあったときに備え、各種制度に関する説明を受けた。

② 社会福祉協議会（14）

- ・教育支援資金の貸付に当たっての調査を行った。
- ・生活福祉資金の貸付の相談を受ける際、対象者宅訪問や手続きへの付き添いなどを行った。

③ JOBOTA（6）

- ・ひきこもりの子を持つお母さんを連れて相談に伺い、その後セミナーを受けたり、JOBOTAからお母さんへ、フォローの電話をしてもらったりした。
- ・高齢の夫婦が裁判所から急な立ち退き請求を受けて困っていたときに、JOBOTAに相談に乗ってもらい対応することができた。

④ 地域包括支援センター（148）

- ・町会の方から高齢者の居住環境について相談を受け、ご本人と相談したうえで地域包括支援センターの担当につないだ。
- ・近隣住民から寄せられたひとり暮らし高齢者の情報を提供し、地域包括支援センターに見守りを依頼した。
- ・高齢の夫婦による虐待防止のための見守り、対応について地域包括支援センターと協議した。

⑤ 自治会・町会（69）

- ・町会主催の行事の手伝いをするすることで、地域の情報を得ている。
- ・災害時の対応について、町会との協力関係が築けるよう話し合っている。

⑥ シニアクラブ（10）

- ・年2回開催されるシニアクラブの会議に出席し、情報共有を行っている。

⑦ ボランティア団体・NPO（32）

- ・団体が主催する健康体操やお茶会などのイベントに、ひとり暮らし高齢者やひきこもりがちな方の参加を促している。
- ・こども食堂で調理の手伝いをしている。

⑧ 保育園・児童館（86）

- ・毎月15日に学童保育の見守りを行っており、小学校、近隣保育園との地域懇談会で情報共有している。
- ・保育園の夏祭りや運動会、その他の行事で手伝いをしている。

⑨ 学校 (45)

- ・年に1度、各学校の先生方と民生委員児童委員との懇談会を開催し、情報共有を図っている。
- ・外国籍保護者への対応では、行政も含めて学校と連携している。
- ・不登校の生徒の状況と家庭環境などを伺い、担任の先生と見守り方法について話し合っている。

⑩ P T A (1)

- ・おやじの会の活動への提案を行った（消防署との連携、障がい者の災害時救出など）。

⑪ 民間の社会福祉施設、事業者 (12)

- ・定期的が高齢者施設スタッフと介護者との情報交換会議に出席している。
- ・地域のグループホームを訪問し、生活ぶりを伺ったり、地域の行事を紹介したりしている。

⑫ 青少年対策地区委員 (10)

- ・委員会主催の小学生交流会、体験ツアーなどに参加し、小中学生や高校生と交流することにより考え方を学ばせてもらい、学校や児童館活動にいかしている。

⑬ 保護司会 (2)

- ・社会を明るくする運動に参加している。

⑭ 障害者団体 (6)

- ・障がい者施設で行うお祭りなどの手伝いをしている。
- ・障がい者施設で和太鼓を教えている。

⑮ 警察署 (5)

- ・警察署から振り込め詐欺の自動通話録音機の現物を借り受け、ひとり暮らしの方に説明した。

⑯ 消防署 (5)

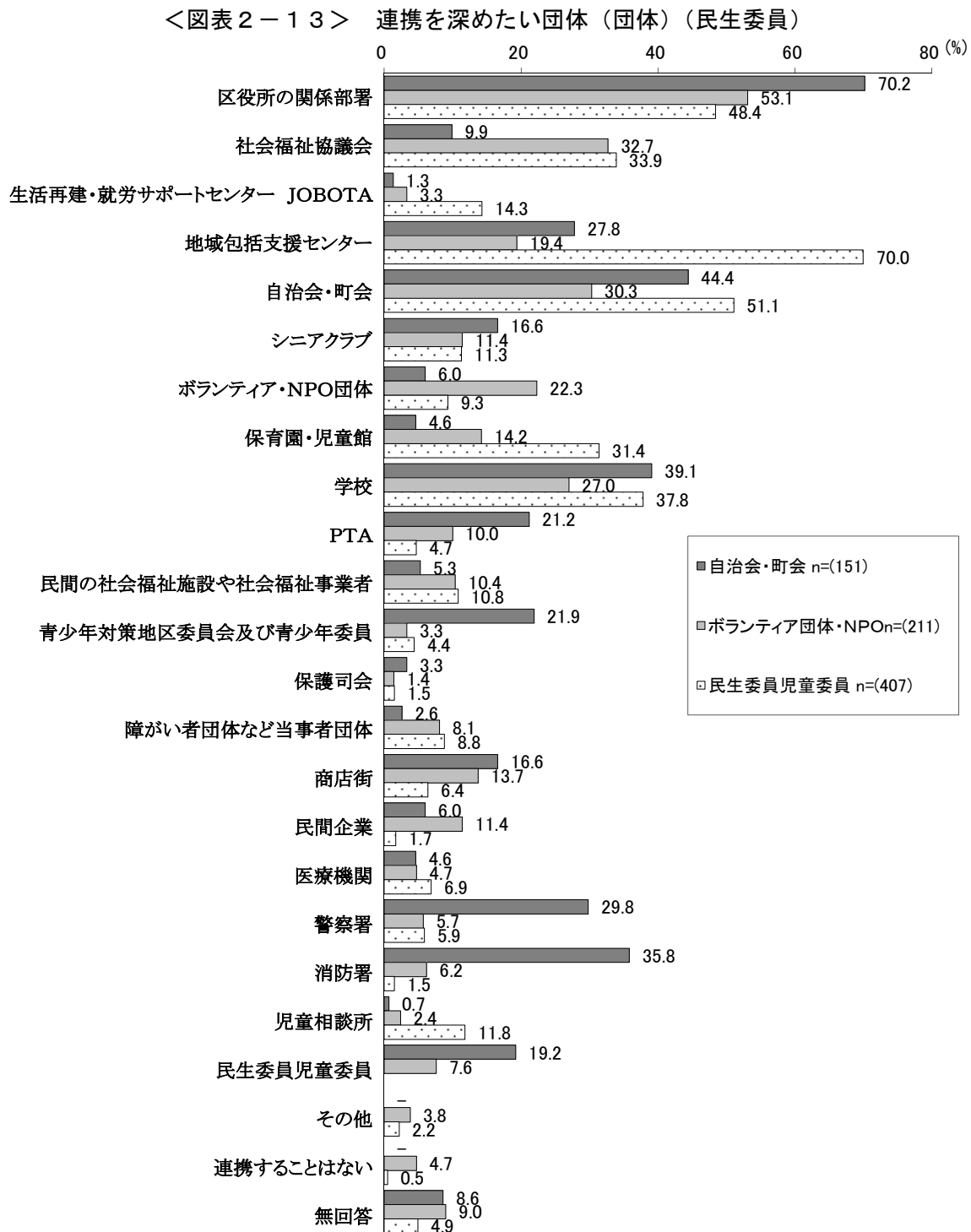
- ・地震発生時に少しでも災害が防げるように、家具転倒防止関連のお話や、制度などのお話をしてもらった。

(4) 連携の状況 (続き)

④連携を深めたい団体について、自治会・町会では「区役所の関係部署」が70.2%で最も高くなっている。

ボランティア団体・NPO・その他団体においても、「区役所の関係部署」が53.1%で最も高くなっている。

民生委員児童委員の連携を深めたい団体では、「地域包括支援センター」が70.0%で最も高くなっている。

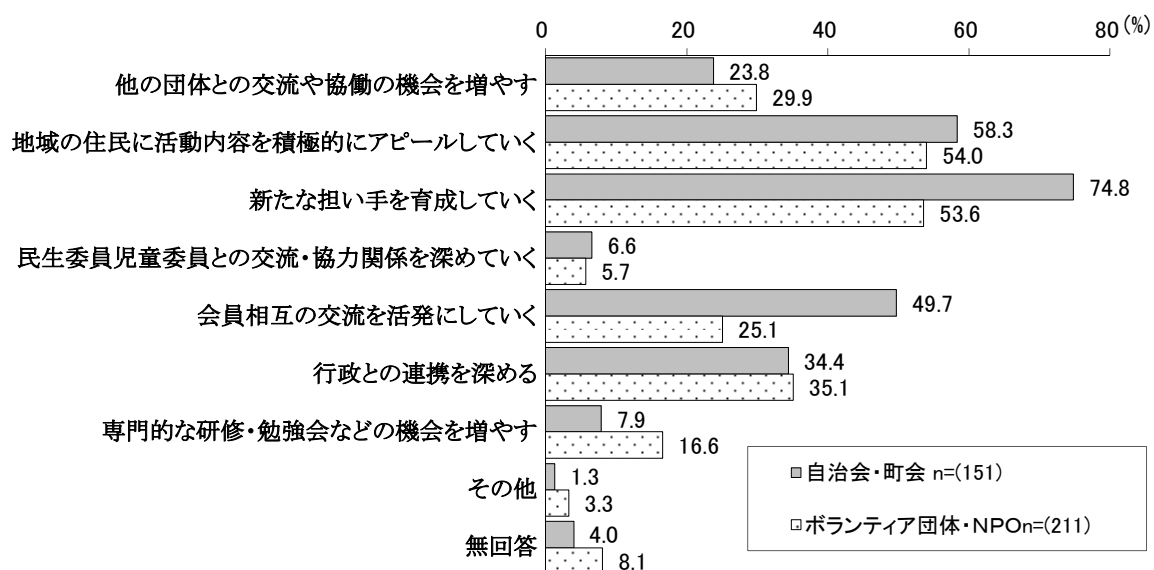


(5) 活動の充実のために必要なこと【組問 11、問 13～問 15】【民問 10～問 15】

①活動の充実に向けて特に必要なことについて、自治会・町会では「新たな担い手を育成していく」が 74.8%で最も高くなっている。

ボランティア団体・NPO・その他団体では、「地域住民に積極的にアピールしていく」が 54.0%で最も高くなっている。

<図表 2-14> 活動の充実に向けて特に必要なこと（団体）



(5) 活動の充実のために必要なこと (続き)

②活動の充実に向けて特に必要なことについて平成 24 年度と比較すると、自治会・町会では、「新たな担い手を育成していく」が 24.2 ポイント増加している。また、「他の組織・団体等との交流や協働の機会を増やす」が 4.3 ポイント、「会員・委員相互の交流を活発にしていく」が 4.9 ポイント増加している。一方、ボランティア団体・NPO・その他団体では、「専門的な研修・勉強会などの機会を増やす」が 9.8 ポイント減少している。

<図表 2-15> 活動の充実に向けて特に必要なこと(平成 24 年度、平成 20 年度との比較) (団体)
(単位: %)

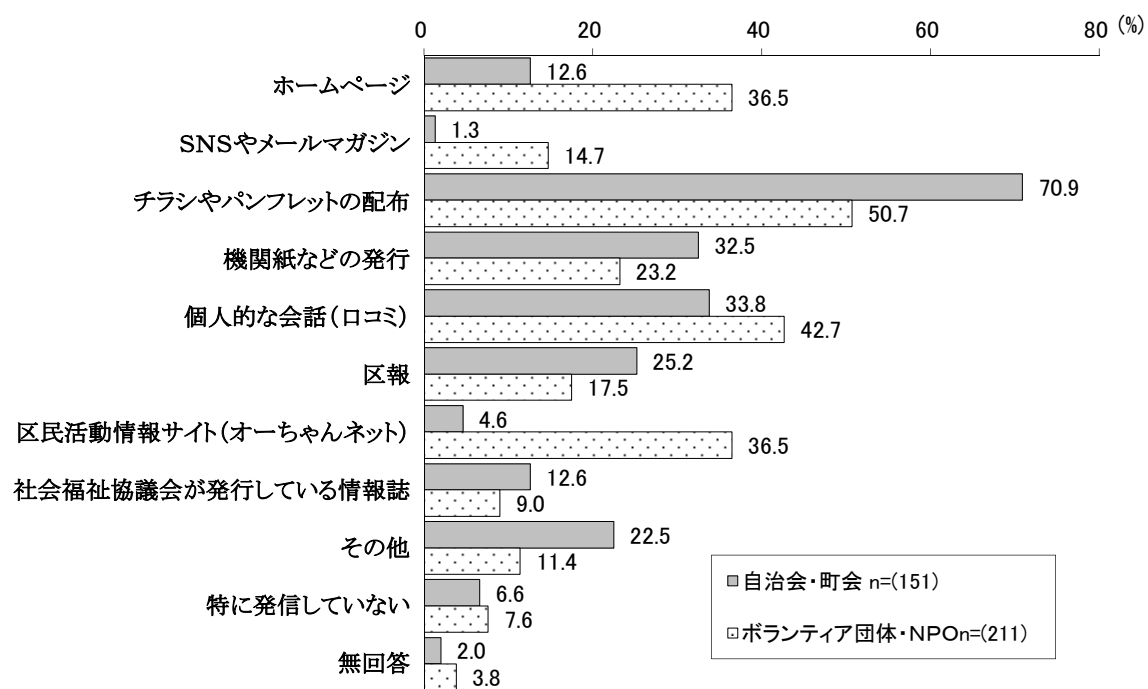
	自治会・町会			ボランティア団体・NPO その他団体		
	平成 29 年度 n=151	平成 24 年度 n=154	平成 20 年度 n=146	平成 29 年度 n=211	平成 24 年度 n=178	平成 20 年度 n=130
他の組織・団体等との交流や協働の機会を増やす	23.8	19.5	20.5	29.9	37.6	35.4
地域の住民に活動内容を積極的にアピールしていく	58.3	56.5	47.3	54.0	51.7	43.1
新たな担い手を育成していく	74.8	50.6	49.3	53.6	51.1	50.0
民生委員児童委員との交流・協力関係を深めていく	6.6	34.4	28.1	5.7	6.2	3.8
会員・委員相互の交流を活発にしていく	49.7	44.8	45.2	25.1	22.5	26.9
行政との連携を深める	34.4	34.4	41.8	35.1	33.1	31.5
専門的な研修・勉強会などの機会を増やす	7.9	10.4	8.2	16.6	26.4	26.2
その他	1.3	0.6	1.4	3.3	2.2	3.1
無回答	4.0	4.5	8.2	8.1	6.7	8.5

(5) 活動の充実のために必要なこと (続き)

③情報発信の方法について、自治会・町会では「チラシやパンフレットの配布」が70.9%で最も高くなっている。

ボランティア団体・NPO・その他団体においても、「チラシやパンフレットの配布」が50.7%で最も高くなっている。

<図表2-16> 情報発信の方法 (団体)

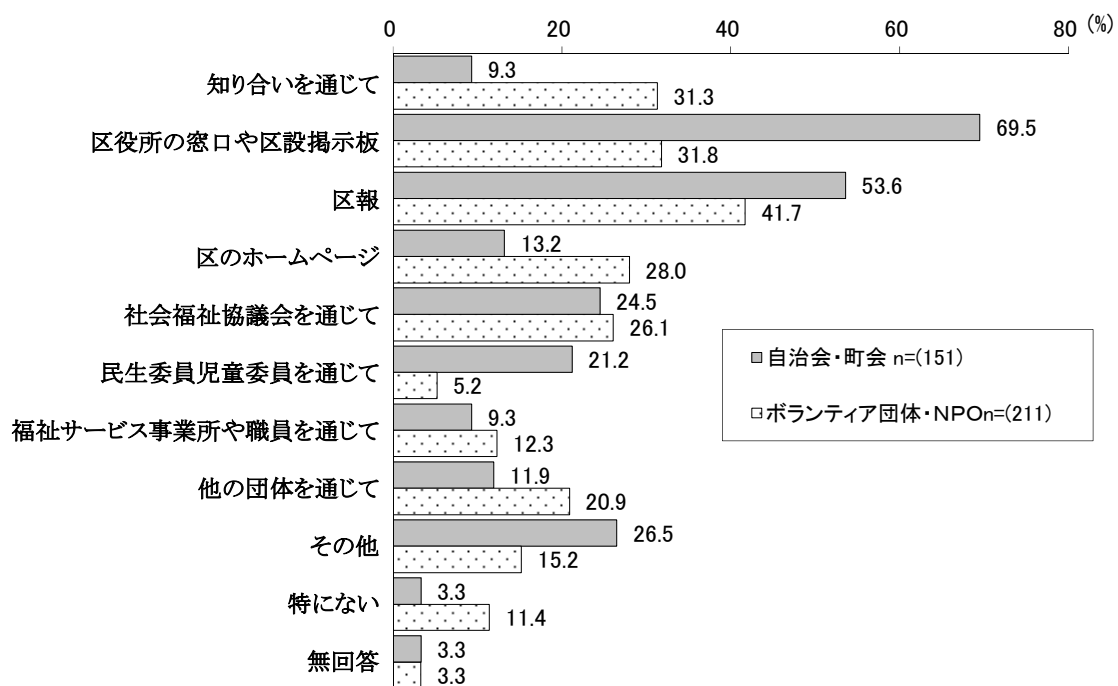


(5) 活動の充実のために必要なこと (続き)

④行政情報の入手方法について、自治会・町会では「区役所の窓口や区設掲示板」が69.5%で最も高くなっている。

ボランティア団体・NPO・その他団体では、「区報」が41.7%で最も高くなっている。

<図表2-17> 行政情報の入手方法 (団体)

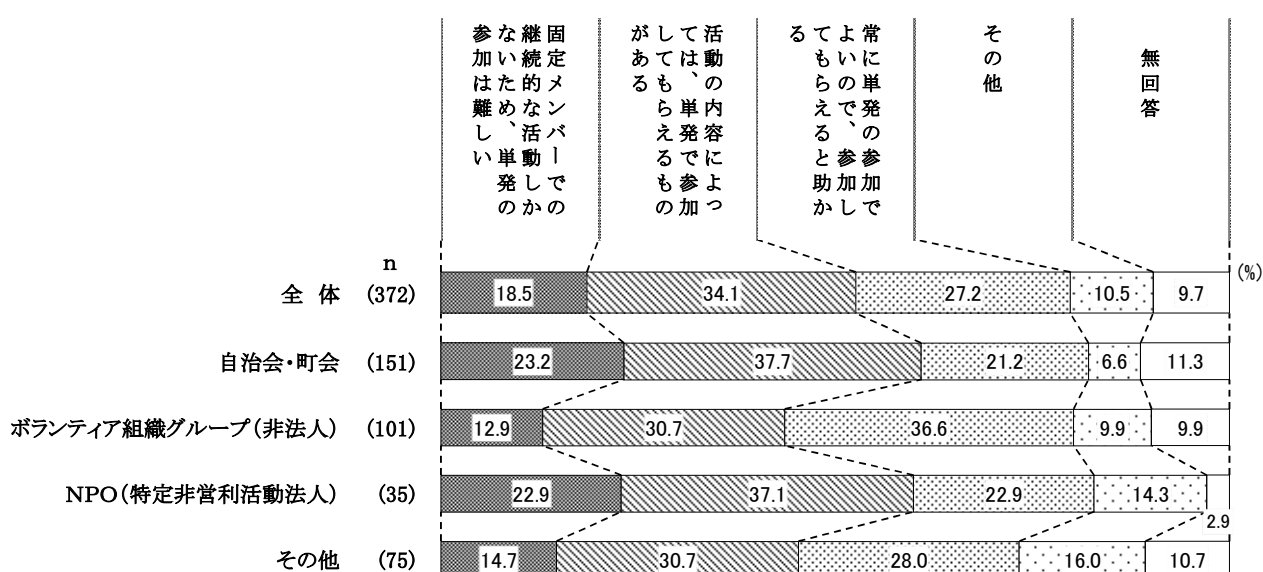


(5) 活動の充実のために必要なこと (続き)

⑤地域福祉活動組織全体では、自団体の活動に対して、会員以外が単発で活動に参加する、いわゆる「お試し参加」について、「活動の内容によっては、単発で参加してもらえるものがある」が34.1%、「常に単発の参加でよいので、参加してもらえると助かる」が27.2%で、合わせて61.3%となっている。

「活動の内容によっては、単発で参加してもらえるものがある」「常に単発の参加でよいので、参加してもらえると助かる」を合わせると、自治会・町会では58.9%、ボランティア団体では67.3%、NPOでは60.0%でいずれも高い傾向となっている。

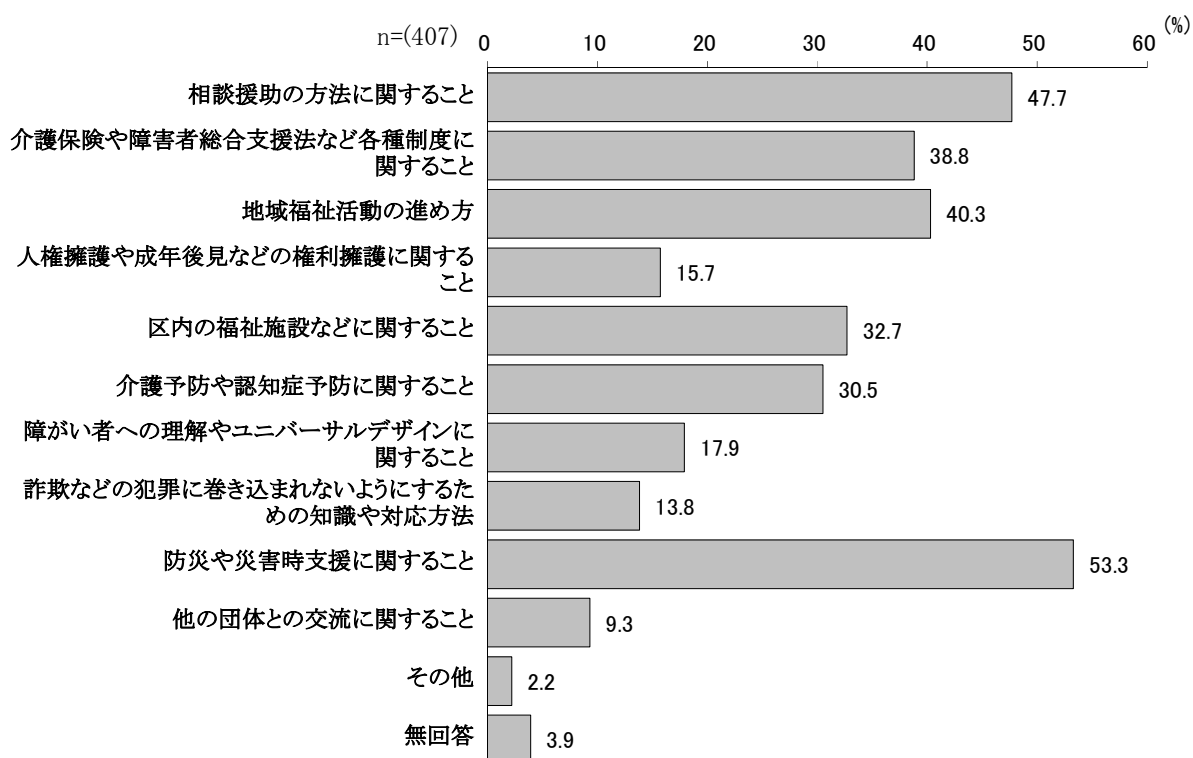
<図表2-18> 活動への単発参加の受入れ意向 (団体)



(5) 活動の充実のために必要なこと（続き）

⑥民生委員児童委員活動を進めるうえで深めたい知識や課題については、「防災や災害時支援に関すること」が53.3%で最も高く、次いで「相談援助の方法に関すること」が47.7%、「地域福祉活動の進め方」が40.3%の順となっている。

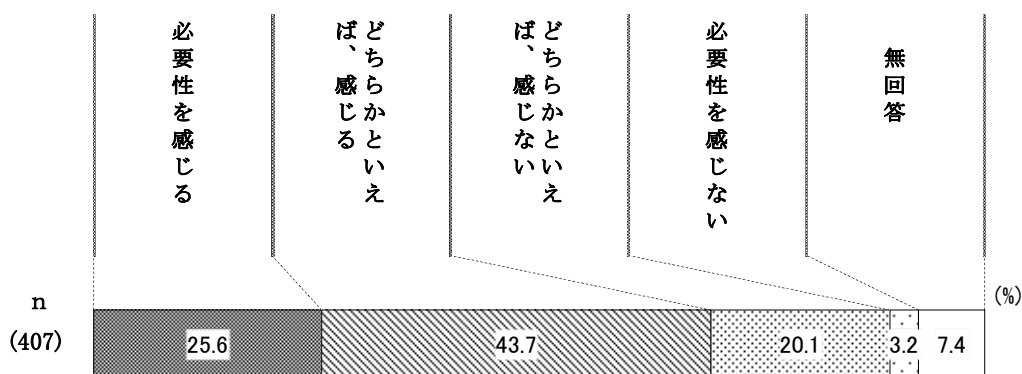
<図表2-19> 民生委員児童委員活動を進めるうえで深めたい知識や課題（民生委員）



(5) 活動の充実のために必要なこと (続き)

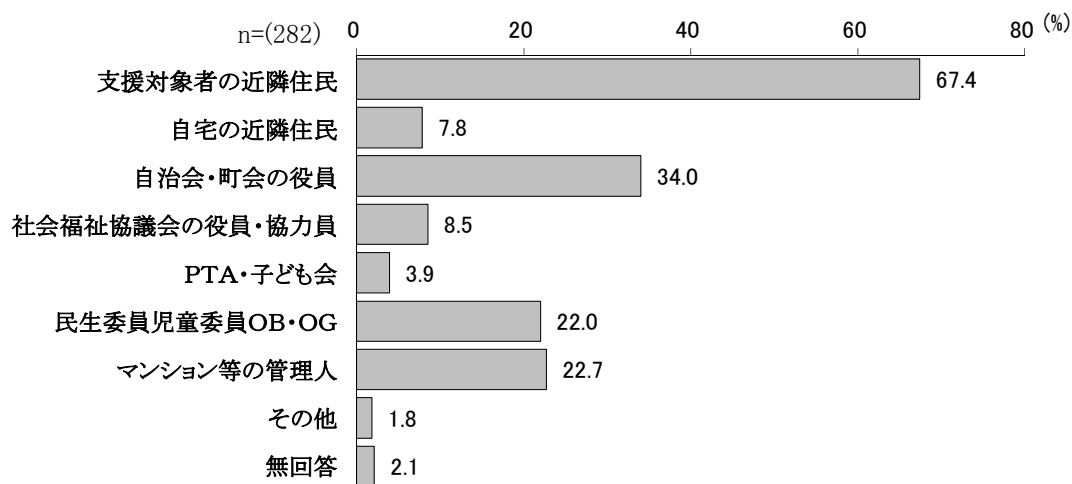
⑦ 民生委員児童委員活動の地域住民の協力の必要性については、「どちらかといえば、感じる」が43.7%で最も高くなっており、「必要性を感じる」を合わせると69.3%となっている。

<図表 2-20> 地域住民の協力の必要性 (民生委員)



⑧ 民生委員児童委員活動の地域住民の協力者として適している方については、「支援対象者の近隣の住民」が67.4%で最も高くなっている。

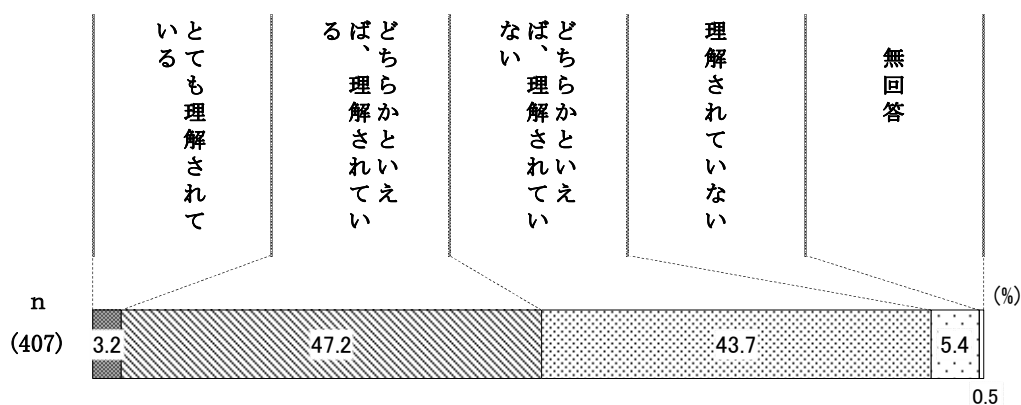
<図表 2-21> 地域住民の協力者として適している方 (民生委員)



(5) 活動の充実のために必要なこと (続き)

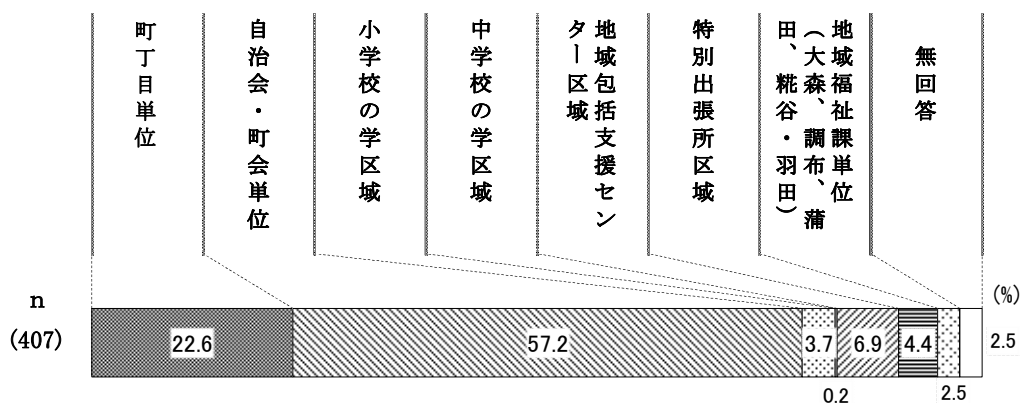
⑩民生委員児童委員の活動への理解度については、「どちらかといえば、理解されている」が47.2%で最も高くなっており、「とても理解されている」を合わせると50.4%となっている。

<図表2-22> 民生委員児童委員の活動への理解度 (民生委員)



⑩民生委員児童委員活動で取り組みやすい活動範囲については、「自治会・町会単位」が57.2%で最も高くなっている。

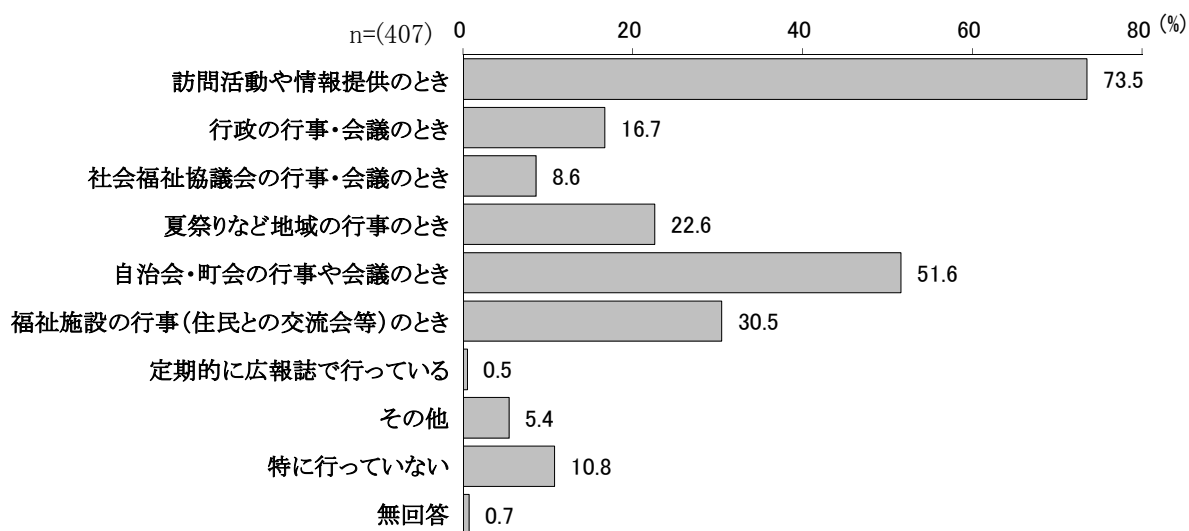
<図表2-23> 民生委員児童委員活動で取り組みやすい活動範囲 (民生委員)



(5) 活動の充実のために必要なこと (続き)

① 民生委員児童委員の活動のPR状況については、「訪問活動や情報提供のとき」が73.5%で最も高く、次いで、「自治会・町会の行事や会議のとき」が51.6%、「福祉施設の行事（住民との交流会等）のとき」が30.5%の順となっている。

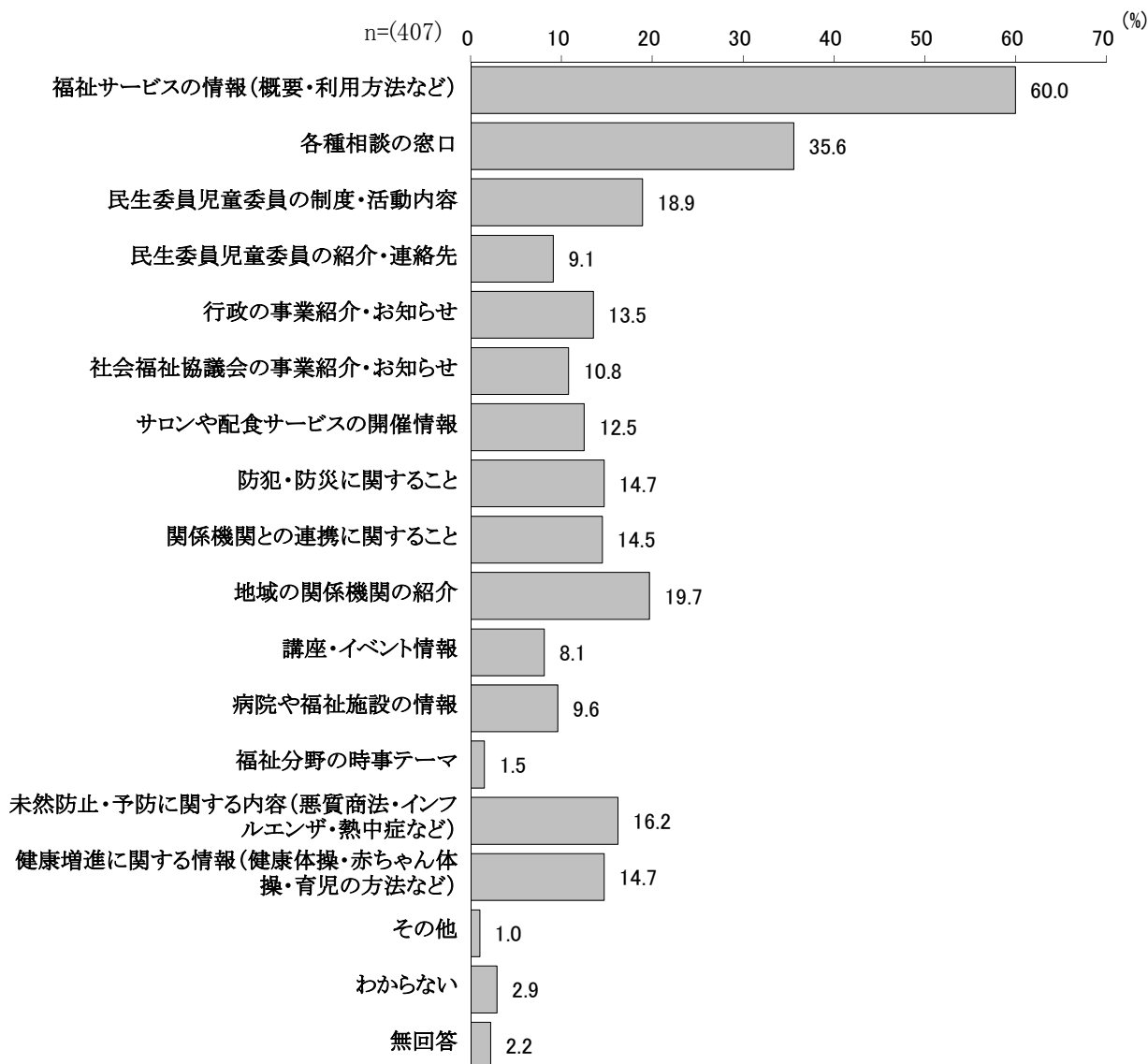
<図表2-24> 民生委員児童委員の活動のPR状況（民生委員）



(5) 活動の充実のために必要なこと (続き)

⑫ 民生委員児童委員が住民に提供すべきと考えている情報については、「福祉サービスの情報 (概要・利用方法など)」が 60.0% と最も高く、次いで「各種相談の窓口」が 35.6%、「地域の関係機関の紹介」が 19.7% の順となっている。

<図表 2-25> 民生委員児童委員が住民に提供すべきと考えている情報 (民生委員)



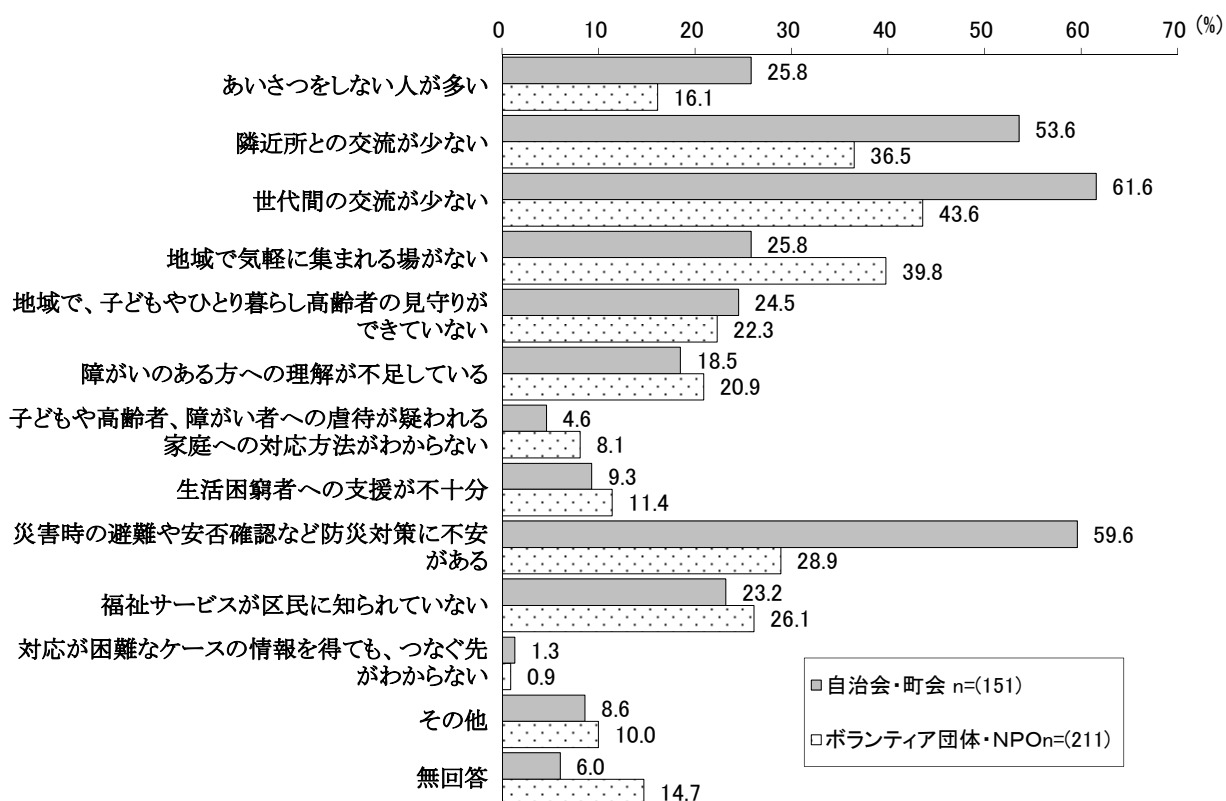
3. 地域福祉活動活性化のために

(1) 地域の課題と感ずること【組問 17】

①地域の問題点や課題について、自治会・町会では「世代間の交流が少ない」が61.6%と最も高くなっている。

ボランティア団体・NPO・その他団体においても、「世代間の交流が少ない」が43.6%と最も高くなっている。

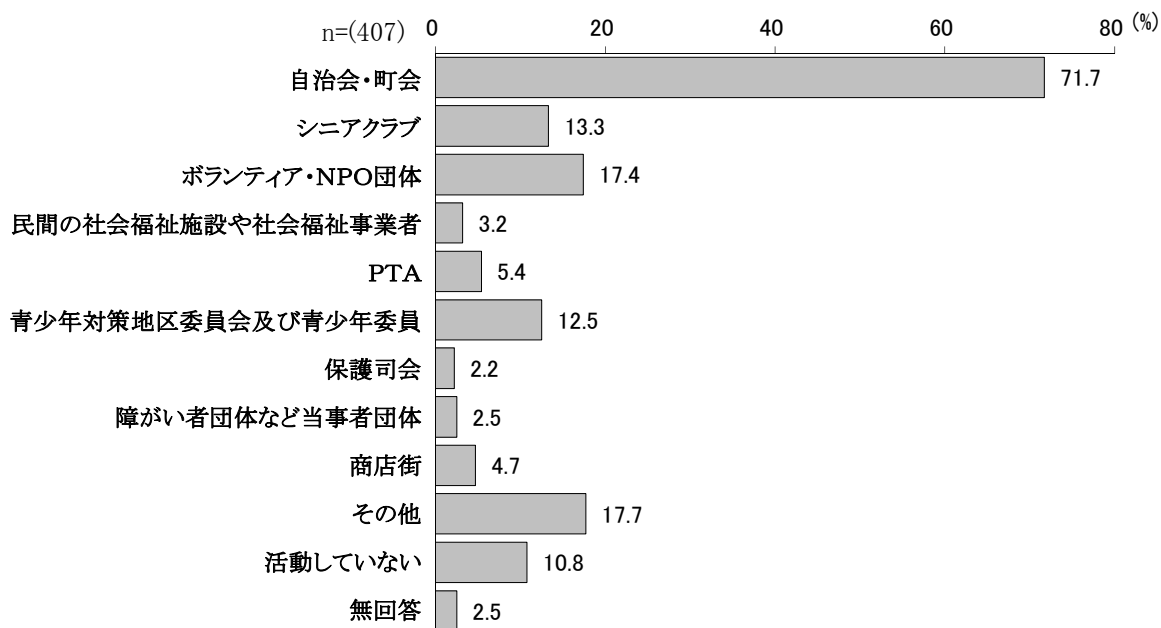
<図表 3-1> 地域の問題点や課題（団体）



(2) 民生委員児童委員以外の活動【民問 17～問 18-2】

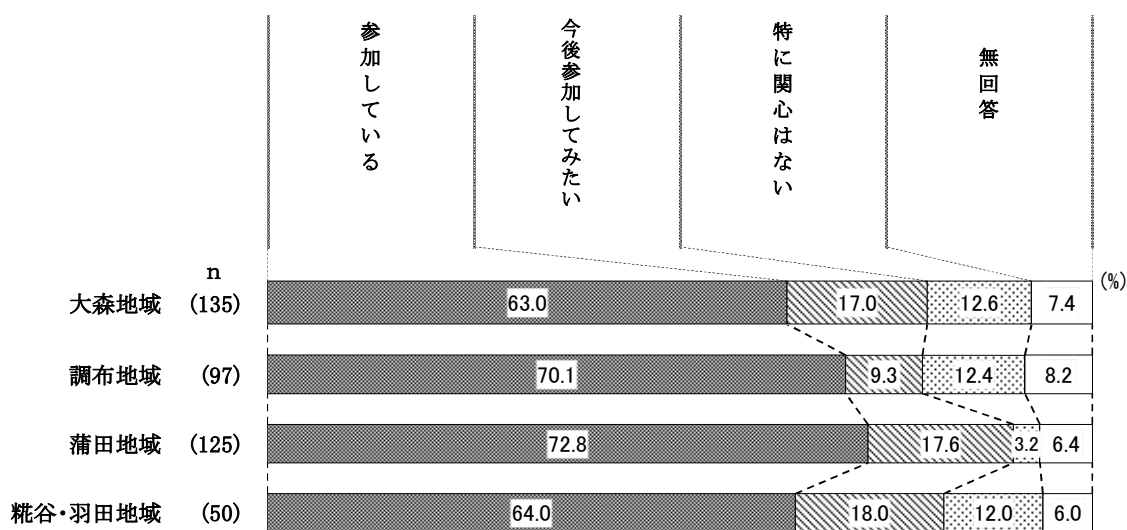
①民生委員児童委員活動以外の地域活動の参加状況については、「自治会・町会」が71.7%で最も高くなっている。

<図表 3-2> 民生委員児童委員活動以外で参加している活動（民生委員）



②民生委員児童委員活動以外の地域活動の参加状況を地域別についてみると、「参加している」が4地域ともに60%を超えている。

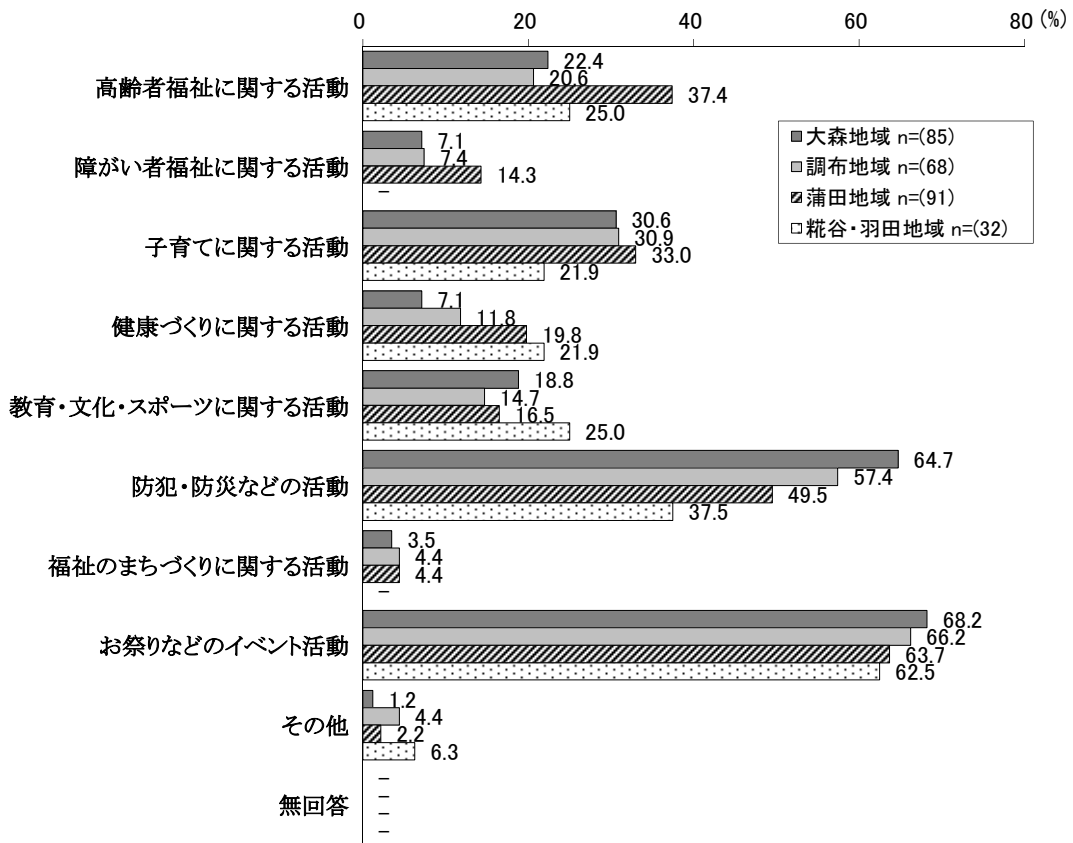
<図表 3-3> 民生委員児童委員活動以外の地域活動の参加状況（民生委員）



(2) 民生委員児童委員以外の活動（続き）

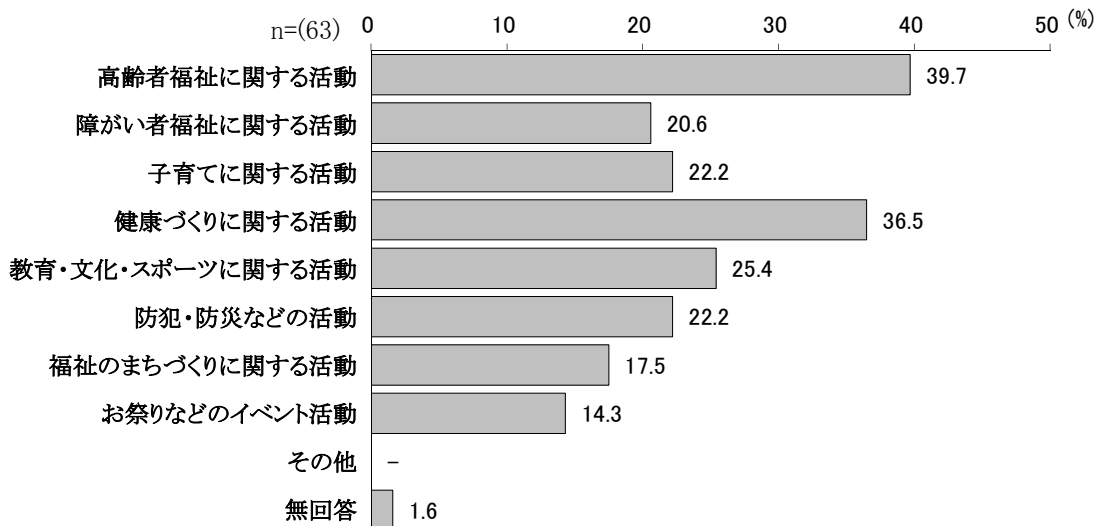
③民生委員児童委員活動以外の参加している活動内容について地域別にみると、「お祭りなどのイベント活動」が4地域ともに60%を超えている。

<図表3-4> 参加している活動内容（民生委員）



④民生委員児童委員活動以外の今後、参加したい活動については、「高齢者福祉に関する活動」が39.7%と最も高くなっている。次いで、「健康づくりに関する活動」が36.5%、「教育・文化・スポーツに関する活動」が25.4%の順となっている。

<図表3-5> 今後、参加したい活動（民生委員）



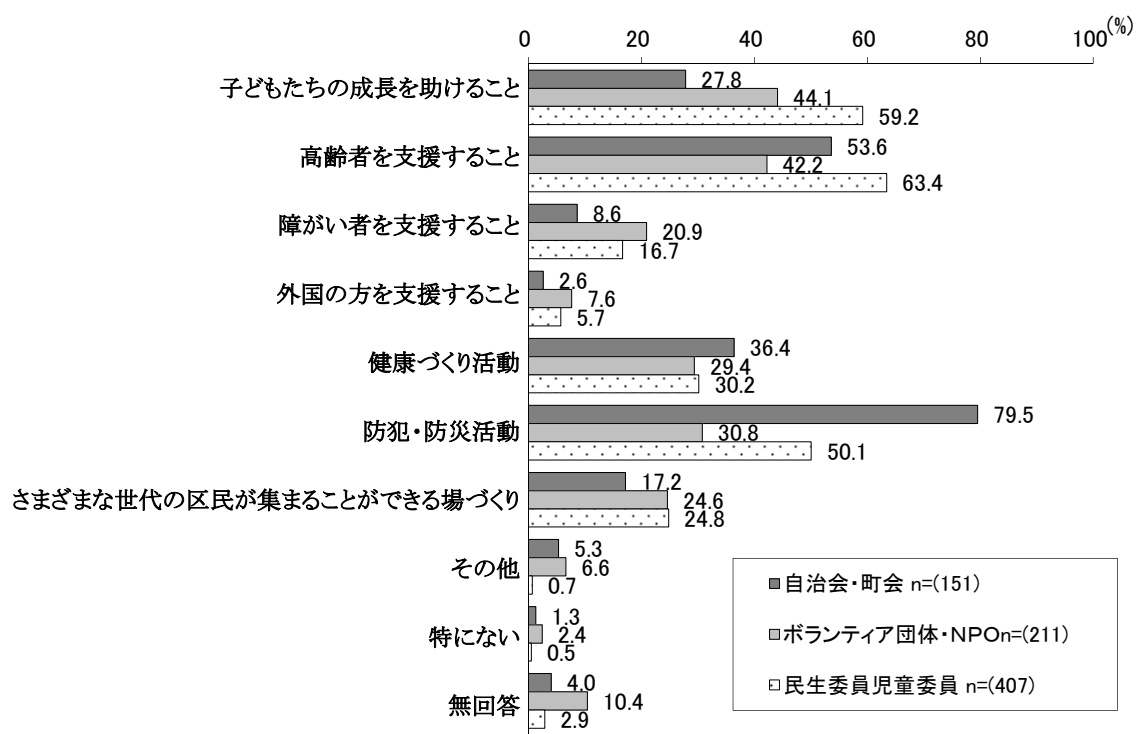
(3) 地域課題解決の仕組みづくり【組問 18～問 20】【民問 19】

①地域の方が協力して取り組めることについて、自治会・町会では「防犯・防災活動」が79.5%で最も高くなっている。

ボランティア団体・NPO・その他団体では、「子どもたちの成長を助けること」が44.1%で最も高くなっている。

民生委員児童委員では、「高齢者を支援すること」が63.4%で最も高くなっている。

<図表3-6> 地域の方が協力して取り組めること（団体）（民生委員）

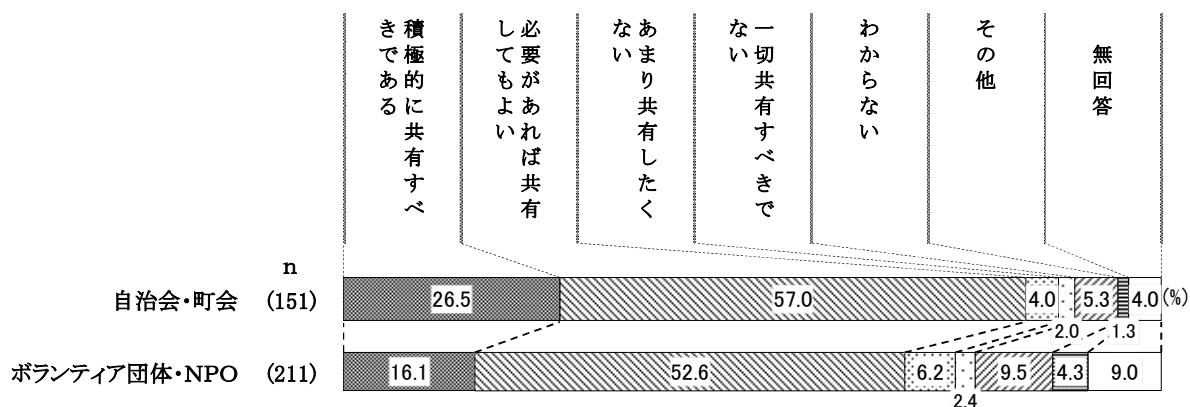


(3) 地域課題解決の仕組みづくり (続き)

②個人情報を支援者が共有することについては、「必要があれば共有してもよい」は自治会・町会が57.0%、ボランティア団体・NPO・その他団体が52.6%で最も高くなっている。

「積極的に共有すべきである」と「必要があれば共有してもよい」を合わせると、自治会・町会が83.5%、ボランティア団体・NPO・その他団体が68.7%となっている。

<図表3-7> 個人情報を支援者が共有することについて (団体)



地域課題の解決でうまくいったこと【組問 19】

① 地域の人々との交流を促進することができた (84)

- ・体操講座の開催で、運動機会が不足がちな高齢の方の体力向上に寄与した。
- ・「地域デビュー応援のつどい」で高齢者の生きがいや趣味を発見する場所を提供できた。
- ・地域にある障がい者施設と交流することで、活動の幅が広がり、子どもたちの居場所の確保につながっている。
- ・活動を通して地域の町会の方々と顔見知りになれた。逆に地域の町会活動への協力も依頼されるようになった。

② 災害等の緊急時の対応や、高齢者の見守りで成果があった (33)

- ・家具転倒防止対策をしていないお宅に、自治会役員3～4名が訪問し対策を施した。すると今度は、そのお宅からご自身が対策に講じる側になりたいとの申し出があり、何軒か続けるうちに支えあいの体制ができ、1年半で46軒のお宅が対策済みとなった。
- ・高齢者の見守り活動の中で何回か訪問していたら、心を開いて笑顔で話してくれるようになった。
- ・ひとり暮らしの方数名の救命ができたこと（消防庁から表彰）。

③ 団体のメンバーの連帯感が増した (17)

- ・町会組織のメンバーチェンジで、次世代のメンバーが執行部に参加したことで、町会組織継承の機運が芽生えつつある。
- ・「みま～もサポーター」という住民参画を募ったことにより、主体的に関わってくれる住民が増えた。また、サポーター同士の横のつながりも生まれている。

④ 活動の内容について感謝された (14)

- ・年6回開催する「子育てセミナー」には毎回多くの未会員の方が来てくださり、講話、グループトークが好評。
- ・参加者の一人からの相談で、近くの人と関係がうまくいかず悩んでいることを伺った。たまたま毎朝の散歩で顔を合わせている人だったため、体操への参加を呼びかけるなどして相談者のお手伝いをし、喜ばれている。
- ・建物の耐震性能に関する解説を行ったところ、大変喜ばれた。

⑤ 話し合い・情報交換をすることができた (13)

- ・介護保険制度が大きく変わり、自助・互助の必要性がますます高まっている。支えあいの必要性や自分にもできることがあることをわかりやすく伝えたことで自信も芽生え、地域の皆さんと話し合いができるようになった（まだ入口ですが）。
- ・地域の方と気軽にいろいろなことを話し合えるようになった。
- ・学校・保護者・行政・当団体との四身一体で、一人の子どもに対応し、ベストと思える支援ができた。

⑥ その他 (25)

地域課題の解決で困難だったこと【組問 19】

① 地域の人々と交流するうえで課題がある (25)

- ・ 個人情報の把握について困難が増している。
- ・ 数年前までは恒例であったお祭りなどが、関係者との調整がうまくいかなかったことで開催できず、住民間の親睦の機会が得られない。
- ・ 地域の中には障がいのある方への理解が不足している方もまだおられ、関係性を築くことができていない部分がある。

② 災害等の緊急時の対応や高齢者の見守りで課題がある (11)

- ・ 災害時要援護者名簿の登録者の見守りや災害時救護体制を作りたかったが、名簿の公表と救護する側の責任について意見がまとまらず実施できない。

③ 団体内の人間関係に課題がある (10)

- ・ 世代間の意識交流が上手に進まないこと。自分さえ良ければ、又はグループさえ良ければという誤った考え方が、思考および行動の範囲に見られること。
- ・ 個人以外に団体として参加しているメンバーがいるので、意見が合わなくなることが時々あり、統一しにくい企画があったこと。

④ ごみ処理に関して課題がある (12)

- ・ ゴミ集積所のルールが守られていない。地域以外の方が夜中に何でも捨てる。区として対策をお願いしたい。
- ・ 清掃事務所が間に入ってくれているが、ゴミ出しや不法投棄があり、解決が困難な状況である。

⑤ 活動が思うような成果を挙げていない (44)

- ・ 1回参加したがその後来られない方が数名いらっしゃるの残念。どのように誘ったらいいのか課題。
- ・ 年1回(6月)の防災訓練に地域の会員の参加が少なく、参加者が固定化している。学校などで児童を通じ家庭に呼びかけているが、あまり効果がない。
- ・ お祭りなどで子ども向けのイベントを行っている。それを地域の子どもたちが引継ぎ、地域を盛り上げてほしいが、なかなか引き継がれない。

⑥ 活動するうえで不足しているものがある (24)

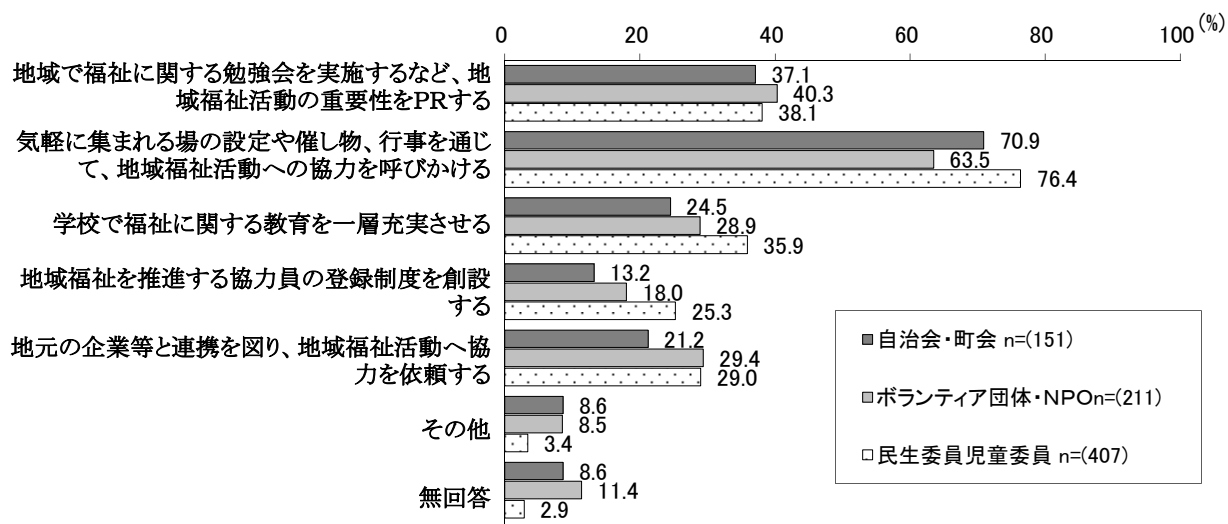
- ・ 活動する場所がないため、区役所などに町会活動拠点の確保をお願いしたが実現しなかった。町会で福祉活動をしたくても活動拠点がない。
- ・ 学習会などを行う際に、車いす利用の方たちが入れる集会室が少なかった。
- ・ 活動資金不足のため希望する活動ができない。
- ・ 運営の仕組みを作った後の、人材の活用と後継者の育成が困難である。

⑦ その他 (16)

(4) 地域福祉の担い手づくり【組問 21】【民問 20】

①地域福祉の担い手を増やす方法については、「気軽に集まれる場の設定や催し物、行事を通じて、地域福祉活動への協力を呼びかける」が自治会・町会、ボランティア団体・NPO・その他団体、民生委員児童委員ともに60%を超えて最も高くなっている。

<図表 3-8> 地域福祉の担い手を増やす方法（団体）（民生委員）



(4) 地域福祉の担い手づくり (続き)

②地域福祉の担い手を増やす方法について平成24年度と比較すると、「気軽に集まれる場の設定や催し物、行事を通じて、地域福祉活動への協力を呼びかける」については自治会・町会が6.0ポイント、ボランティア団体・NPO・その他団体が5.6ポイント、民生委員児童委員が1.5ポイント増加している。

＜図表3-9＞ 地域福祉の担い手を増やす方法(平成24年度、平成20年度との比較)
(団体)(民生委員)

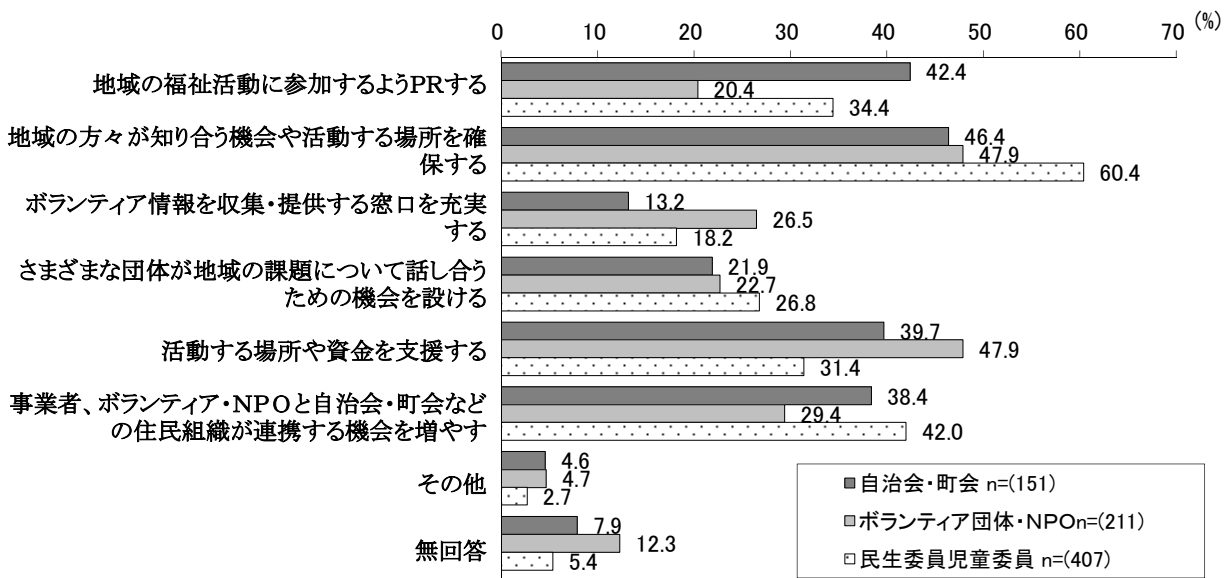
(単位：%)

	自治会・町会			ボランティア団体 NPO・その他団体			民生委員児童委員		
	平成 29年 度 n=151	平成 24年 度 n=154	平成 20年 度 n=146	平成 29年 度 n=211	平成 24年 度 n=178	平成 20年 度 n=130	平成 29年 度 n=407	平成 24年 度 n=446	平成 20年 度 n=438
地域で福祉に関する勉強会を実施するなど、地域福祉活動の重要性をPRする	37.1	43.5	43.8	40.3	42.1	37.7	38.1	41.0	45.9
気軽に集まれる場の設定や催し物、行事を通じて、地域福祉活動への協力を呼びかける	70.9	64.9	64.4	63.5	57.9	54.6	76.4	74.9	70.3
学校で福祉に関する教育を一層充実させる	24.5	37.0	52.1	28.9	47.2	41.5	35.9	47.8	48.9
地域福祉を推進する協力員の登録制度を創設する	13.2	21.4	21.2	18.0	16.3	18.5	25.3	25.3	24.2
地元の企業等と連携を図り、地域福祉活動へ協力を依頼する	21.2	21.4	15.1	29.4	30.9	35.4	29.0	26.2	26.3
その他	8.6	3.9	4.8	8.5	3.9	3.8	3.4	3.4	3.9
無回答	8.6	9.7	11.0	11.4	8.4	11.5	2.9	4.3	2.7

(5) 地域での支えあいによる課題解決のために行政が取り組むこと【組問 22、問 23】
【民問 21、問 22】

①地域での支えあいによる課題解決のために行政が取り組むことについて、自治会・町会では「地域の方々が知り合う機会や活動する場所を確保する」が46.4%で最も高くなっている。
ボランティア団体・NPO・その他団体では、「地域の方々が知り合う機会や活動する場所を確保する」と「活動する場所や資金を支援する」が47.9%と同率で最も高くなっている。
民生委員児童委員では、「地域の方々が知り合う機会や活動する場所を確保する」が60.4%で最も高くなっている。

<図表3-10> 地域での支え合いによる課題解決のために行政が取り組むこと（団体）（民生委員）



(5) 地域での支えあいによる課題解決のために行政が取り組むこと（続き）

②地域での支えあいによる課題解決のために行政が取り組むことについて平成 24 年度と比較すると、自治会・町会では「地域の方々が知り合う機会や活動する場所を確保する」が 7.4 ポイント増加している。

ボランティア団体・NPO・その他団体では「地域の方々が知り合う機会や活動する場所を確保する」が 12.5 ポイント増加している。

＜図表 3-11＞ 地域での支え合いによる課題解決のために行政が取り組むこと
（平成 24 年度、平成 20 年度との比較）（団体）（民生委員）

（単位：％）

	自治会・町会			ボランティア団体 NPO・その他団体			民生委員児童委員		
	平成 29年 度 n=151	平成 24年 度 n=154	平成 20年 度 n=146	平成 29年 度 n=211	平成 24年 度 n=178	平成 20年 度 n=130	平成 29年 度 n=407	平成 24年 度 n=446	平成 20年 度 n=438
地域の福祉活動に参加するようPRする	42.4	41.6	51.4	20.4	20.2	30.8	34.4	43.5	43.4
地域の方々が知り合う機会や活動する場所を確保する	46.4	39.0	45.2	47.9	35.4	28.5	60.4	63.7	61.4
ボランティア情報を収集・提供する窓口を充実する	13.2	13.6	12.3	26.5	30.3	27.7	18.2	16.4	15.5
様々な団体が地域の課題について話し合うための機会を設ける	21.9	27.3	29.5	22.7	21.9	20.8	26.8	27.4	30.6
活動する場所や資金を支援する	39.7	35.7	38.4	47.9	43.8	51.5	31.4	29.6	28.8
事業者、ボランティア・NPOと自治会・町内会などの住民組織が連携する機会を増やす	38.4	39.6	27.4	29.4	36.0	33.8	42.0	44.4	36.5
その他	4.6	1.9	3.4	4.7	5.1	5.4	2.7	1.3	5.3
無回答	7.9	11.0	11.0	12.3	9.0	7.7	5.4	4.0	3.7

(5) 地域での支えあいによる課題解決のために行政が取り組むこと (続き)

③行政が特に力を入れて取り組むべき保健福祉施策について、自治会・町会では「ひとり暮らし高齢者の見守り体制や介護施設の整備」が66.2%で最も高くなっている。

ボランティア団体・NPO・その他団体においても、「ひとり暮らし高齢者の見守り体制や介護施設の整備」が45.0%で最も高くなっている。

民生委員児童委員については、「ひとり暮らし高齢者の見守り体制や介護施設の整備」と「子どもを安心して産み育てられる子育て支援施策の充実」が63.9%と同率で最も高くなっている。

<図表3-12> 行政が特に力を入れて取り組むべき保健福祉施策 (団体) (民生委員)

